

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	音楽 I	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		2	1	全

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</p> <p>自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。</p> <p>主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>高校生の音楽1・音楽通論・The Basics of Music(単元によってワークシートも配付)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。</p>	<p>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。</p>	<p>主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていこうとしている。</p>
評価点	150点	150点	150点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	〔歌唱〕斉唱、独唱 〔器楽〕ギター等 〔鑑賞〕西洋音楽史	実技テスト ワークシート記述	実技テスト ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
		50	50	50
2	〔歌唱〕斉唱、独唱、合唱 〔器楽〕弦楽器 〔創作〕リズム創作	実技テスト ワークシート記述	実技テスト ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
		50	50	50
3	〔創作〕旋律創作 〔鑑賞〕管弦楽	作品提出 発表 ワークシート記述	作品提出 発表 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
		50	50	50

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	〔歌唱〕 校歌(斉唱)、「Caro mio ben」「野ばら」 ・バランスのよい姿勢、呼吸の仕方、声の響かせ方を理解する。 ・曲のイメージをもち、曲想と歌詞との関わりや旋律の特徴、言葉の抑揚を理解して、表現を創意工夫して歌う。	24
	5	・ドイツ語の発音を学び、強弱によるリズムと旋律との関わりを理解するとともに、曲にふさわしい表現で歌う。	
	6	○-----中間審査 〔器楽〕 ギター(弾き歌い)「Happy Birthday to you」 ・楽器の構造、チューニング法、ストローク奏法の技能、ダイヤグラムやタブ譜の読み方を身につけ	
	7	思いや意図をもって演奏する。 〔鑑賞〕 西洋音楽史 ・中世～近現代の音楽の特徴と背景を読み取り、よさを味わう。 ○-----期末審査	
2	8	〔歌唱〕 「歌の翼に」、「Sing」 ・バランスのよい姿勢、呼吸の仕方、声の響かせ方を理解し、曲のイメージをもち、曲想と歌詞との関わりや旋律の特徴、言葉の抑揚を理解して、表現を創意工夫して歌う。	28
	9	○-----中間審査	
	10	〔器楽〕 弦楽器「きらきら星」 ・さまざまな奏法を身につけ、複雑なリズムと旋律とのかかわりを理解するとともに、曲にふさわしい表現を工夫して演奏する。	
	11	〔創作〕 リズムアンサンブル(iPad) ・反復、変化、対照などの手法を用い、音素材を活用して自分のイメージに合わせてリズムアンサンブルをする。 ○-----期末審査	
3	1	〔創作〕 旋律創作(iPad) ・コードネームを理解し、イメージをもって旋律を変奏する。 〔鑑賞〕 交響詩 魔法使いの弟子	18
	2	・作品に影響を与えたゲーテの詩「魔法使いの弟子」を読み、情景を浮かべながら曲を鑑賞し、登場する人や物、物語のシーンがどのように音楽で表現されているかについて、考察する。 〔鑑賞〕 日本と世界の音楽	
	3	・日本の民謡や沖縄・奄美大島の様々な音楽を鑑賞し、音楽だけではなく用いられる楽器や衣装、踊りなどの特徴を味わう。 ○-----期末審査	

5 その他

- 1日に2時間連続で授業があります。
- 定期審査は実施しませんが、単元ごとに実技テストや発表を行います。
- 進学で必要な人は必ず担当教員に申し出て下さい。

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	美術 I	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		2	1	全

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関する資質・能力と次のように育成することを目指す。</p> <p>(1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法や創造工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2)造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。</p> <p>(3)主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、完成を深め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	高校美術1 混色事典

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法や創造工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、完成を深め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	デザイン 1.グラデーション表現を使って	・グラデーション作品 【グラデーションの配色等の知識】	グラデーション作品 【配色計画】	・授業態度 ・作品鑑賞力 ・進捗表
		100	100	100
2	絵画 風景画 1. 校内の風景画を描く	・風景画 ・アクリル絵の具の知識	・風景画 ・アクリル絵の具の使い方	・授業態度 ・作品鑑賞力 ・進捗表
		100	100	100
3	工芸 1. 家庭で使えるものを作ろう 【鍋敷き】	木彫りの知識 薬研彫り、菱合い彫り、浮彫りなど	木彫のデザイン性	・授業態度 ・作品鑑賞力 ・進捗表

	彫刻 パッケージ 1. 本物そっくりに作ろう	・パッケージ ・パッケージデザインの意義	パッケージを本物らしく表現できたか(色・形)	・授業態度 ・作品鑑賞力 ・進度表
		200	200	200
計		400	400	400

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	はじめに(オリエンテーション)美術への招待と今後の授業内容の説明 ① 鉛筆を削ろう。 ② 鉛筆の硬さの違いについて ③ 鉛筆の特性を生かしてクロッキー帳に『手』を描いてみよう。	24
	5	デザイン テーマ ひとつふたつずらすとなんときれい	
	6	① グラデーションについての知識 (清色・濁色・有彩色・無彩色・補色など)	
		② グラデーションを使った模様を考える。(模様づくり)	
		③ 20cm×20cm のケント紙に模様を清書する。	
		④ 配色計画を立てる。	
		⑤ きれいに塗られたグラデーション作品完成	
7	⑥ 裁断するための切り絵を完成 ⑦ 最大5mmで裁断し、並び替え、貼り付けで完成		
2	8	『絵画』	28
	9	身近な校内風景面を描こう。教科書 P16, 17参照	
	10	① 事前に身近な学校での場所をタブレットで撮っていく	
		② アクリル絵の具の特性・キャンバスについて理解する。	
		③ 風景面の構図について(透視図法の活用)	
		④ 遠近感の表現	
	11	『工芸』 鍋敷きをつくる ① 八角形の形に合うデザインを考える	
12	② 彫刻の使い方を理解する。 (葉研彫、菱合い彫り、片切り彫り、かなぼこ彫りなど)		
	③ 着彩する。		

3	1	パッケージの制作(本物そっくりに作ろう)	18
		① パッケージの図柄をトレースする。(一文字変える)	
	2	② パッケージの実物大の粘土のかたまりを成形する。	
	3	※2 学期中に粘土で作らせ乾燥しておく ③ 粘土へのトレース後、アクリル絵の具で着彩する	

5 その他

- ・定期テストはありませんが、作品提出が大きな評価対象です。
- ・進捗表の計画・反省・次回への取り組み内容の記入が重要です。
- ・将来、美術系の進路を考えている人は1年の間にかならず相談にきてください。

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	書道 I	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		2	1	全

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。また、書の良さや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。また、主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。
使用教科書 副教材等	光村図書 書 I 教育出版 高校硬筆の練習

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	書に関する見方・考え方を働かせて、書の表現方法や形式、書表現の多様性などについて書の創造的活動を通して理解するとともに、書の伝統に基づき、作品を工夫して表現するための技能を身に付け表している。	書の良さや美しさを感じ、書に関する見方・考え方を働かせて、自らの意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書を味わって深く捉えたりしている。	書の創造的活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	オリエンテーション 漢字の書(基本点画) 古典臨書(行書・草書・隷書・篆書・楷書) 一字書作品制作	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	100	80	100
2	漢字仮名交じり書 古典臨書制作(半紙) 仮名の書 漢字仮名交じり書作品制作 (線質・潤滑・墨の濃淡・余白・紙面構成)	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	120	120	100
3	篆刻 漢字仮名交じり書作品完成	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	80	100	100

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	[オリエンテーション] 書道学習の内容を理解する。	24
	5	[漢字の書(基本点画)] 筆の持ち方、構えなどを理解し、毛筆に慣れる。	
1	6	[古典臨書(行書・草書・隸書・篆書・楷書)] 古典の特徴を発見、理解し、用筆や運筆、造形や線質の習得を目指す。	24
	7	[一字書作品制作] 学習した古典をもとに一文字だけでの作品制作を行う。紙面構成を考え、紙面のどの位置に文字を書くのが効果的かを考察させる。また、相互批評を行い、今までの学習の根拠に基づいた自分の考えを述べさせる。	
2	8	[漢字仮名交じり書] 身近な現代の文章を書くことにより、文字の持つ説得力を感じさせる。	28
	9	[古典臨書制作(半紙)] 古典臨書学習で理解した表現技法を使い、古典の特徴を掴みながらそれを表現できるようにする。(公募展出品)	
	10	[仮名の書] 古典臨書で書の技法を身に付けた上で、漢字かな交じり書作品制作のために平安時代の初期の仮名を学習し、平仮名の美しさの基本とは何かを学ぶ。	
	11	[【思いを伝える書】制作](線質・潤滑・墨の濃淡・余白・紙面構成) 一つ一つのテーマに沿い、漢字かな交じり書の基本を学ぶ。また、【思いを伝える書】として他の人へ思いを伝える場合に必要な技法を学ぶ。作品効果として有効な事項の理解に努め制作に活かす。	
3	1	[篆刻] 作品に押印する印を作成する。	18
	2	[【思いを伝える書】完成] 1年間の学習を通して習得した表現方法や技法を使い、“誰に、何を、どのように、伝えたいか”を考えながら魅力ある作品制作を目指す。特に言葉選び、イメージ設定、表現の工夫等について試行錯誤を重ね制作する。	
	3	「書」を愛好し生活の中で楽しみながら、生涯に渡り生活をより一層豊かにする姿勢を大切にす。	

5 その他

- 授業は2時間連続で行います。
- 授業に必要な道具は各自できちんと管理してください。
- 書道で進学を考えている人は必ず担当教諭に申し出てください。

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	楽典・リコーダⅠ	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		1	2	クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>聴音や視唱などの諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ専門的な音楽に関する資質・能力を次のように育成することを目指す。</p> <p>(1)拍子、リズムなどの音楽理論について理解するとともに、読譜や演奏表現をするために必要な技能を身につけるようにする。</p> <p>(2)聴き取った声部を正確に捉え、旋律視唱の表現を創意工夫することができるようにする。</p> <p>(3)音楽を愛好し、音や音楽に対する興味・関心を高めるとともに、主体的に楽譜から情報を読み取ろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	音楽通論・The Basics of Music(ワークシートも配付)・コールユーブンゲンまたはコンコーネ

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・聴音などにおいて、和声等を理解し、譜表に記譜する基礎的な能力を身に付けている。 ・各課題の調性や拍子を理解し、正確な音程やリズム、音価、和声を記譜する。調性に沿った臨時記号を選択し、記譜する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・旋律や和声を知覚し、それらの働きを感受しながら、調性感やリズム感をもって音楽を聴き取っている。 ・旋律やリズムを知覚し、それらの働きを感受しながら、調性感、和声感、リズム感を持った音楽表現をしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・旋律やリズム、和声との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。 ・旋律やリズムの変化と、それらが生み出す曲想との関わりに関心を持ち、新曲視唱の活動に主体的・協働的に取り組もうとしている。
評価点	150点	150点	150点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	[楽典]音の種類・音名と階名・様々な譜表 [視唱]発声の基礎、新曲視唱 [聴音]基本的な単旋律聴音	小テスト ワークシート記述	小テスト ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
		50	50	50
2	[楽典]リズムと拍子・音程の基礎 [視唱]新曲視唱 [聴音]複旋律聴音	小テスト ワークシート記述	小テスト ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
		50	50	50
3	[楽典]音階 [視唱]新曲視唱 [聴音]和声聴音	小テスト ワークシート記述	小テスト ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
		50	50	50

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	〔楽典〕音の種類・音名と階名・様々な譜表 ・音楽を専門的に学ぶ際に必須の「音」「音名」「リズム」「拍子」「音程」に関する基礎知識を理解する。	12
	5	○-----中間審査	
	6	〔視唱〕発声の基礎、新曲視唱 ・音楽を構成する諸要素の基本的事項を理解し、読譜力を高める。 ・新曲視唱に必要な発声の基礎と、基本的なリズム様式を身に付ける。	
	7	〔聴音〕基本的な単旋律聴音 ・音の響きや音型、リズムを理解し、譜表に記譜する基礎的な能力を身に付ける。 ○-----期末審査	
2	8	〔楽典〕リズムと拍子・音程の基礎 ・音楽を専門的に学ぶ際に必須の「音」「音名」「リズム」「拍子」「音程」に関する基礎知識を理解する。	14
	9	○-----中間審査	
	10	〔視唱〕新曲視唱 ・音楽を構成する諸要素の基本的事項を理解し、読譜力を高める。	
	11	・新曲視唱に必要な発声の基礎と、基本的なリズム様式を身に付ける。	
12	〔聴音〕複旋律聴音 ・音の響きや音型、リズム、和声を理解し、譜表に記譜する基礎的な能力を身に付ける。 ○-----期末審査		
3	1	〔楽典〕音階 ・「音階」に関する基礎知識を理解する。	9
	2	〔視唱〕新曲視唱 ・音楽を構成する諸要素の基本的事項を理解し、読譜力を高める。 ・新曲視唱に必要な発声の基礎と、基本的なリズム様式を身に付ける。	
	3	〔聴音〕和声聴音 ・音の響きや音型、リズム、和声を理解し、譜表に記譜する基礎的な能力を身に付ける。 ○-----期末審査	

5 その他

- 聴音や視唱のテストを行います。
- 進学で必要な人は必ず担当教員に申し出て下さい。

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	音楽探究	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		2	2	クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>探究の見方・考え方を働かせ、地域社会を担う生き方や働き方を考えながら、地域の活性化に向けた課題を解決するために必要な基本的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)地域に関わる様々な事象について探究するために必要な基本的な知識及び技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)芸術的な内容を日常生活と関連づけ、音楽を通じた地域への着手方法を自ら考え、情報収集や整理分析をして、総括・表現できる力を養う。</p> <p>(3)地域に関わる様々な事象や地域の活性化に向けた課題に知的好奇心をもって向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決に向けて挑戦しようとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	音楽通論・The Basics of Music(単元によってワークシートも配付)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていこうとしている。
評価点	150点	150点	150点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	〔歌唱〕斉唱 〔器楽〕三線 ☆西洋音楽史	実技テスト ワークシート記述	実技テスト ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
		50	50	50
2	〔歌唱〕斉唱、合唱 〔器楽〕ヴァイオリン ☆演奏企画	実技テスト ワークシート記述	実技テスト ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
		50	50	50
3	〔歌唱〕斉唱、合唱 〔器楽〕鍵盤楽器 ☆西洋音楽史	発表 ワークシート記述	発表 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
		50	50	50

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	〔歌唱〕 イタリア歌曲 ・イタリア語の発音とベルカント唱法を身に付ける。 ・リズムを意識して個性豊かな歌唱表現を創意工夫する。	24
	5	・イタリア語の特性とそれにふさわしい発声、拍子にあった歌唱表現に主体的に取り組む。 ○-----中間審査	
	6	〔器楽〕 三線「島人ぬ宝」 ・音色や奏法との関わりやその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、個性豊かに器楽表現を創意工夫する。 ☆西洋音楽史	
	7	・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え音楽のよさや美しさを深く味わって聴く。 ○-----期末審査	
2	8	〔歌唱〕 ドイツ歌曲 ・ドイツ語の発音を学び、強弱によるリズムと旋律との関わりを理解するとともに、曲にふさわしい表現で歌う。	28
	9	○-----中間審査	
	10	〔器楽〕 ヴァイオリン「きらきら星」「歓喜の歌」 ・音色や奏法との関わりやその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、個性豊かに器楽表現を創意工夫する。	
	11	○-----期末審査	
3	1	〔歌唱〕 斉唱、合唱 ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、個性豊かに歌唱表現を創意工夫する。	18
	2	〔器楽〕 鍵盤楽器 ・音色や奏法との関わりやその関わりによって生み出される表現上の効果を理解するとともに、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付け、個性豊かに器楽表現を創意工夫する。	
	3	☆西洋音楽史 ・曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解を深めるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え音楽のよさや美しさを深く味わって聴く。 ○-----期末審査	

5 その他

- 単元ごとに実技テストや発表を行います。
- 進学で必要な人は必ず担当教員に申し出て下さい。

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	素描	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		1	2	クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>美術表現を通じて感性や美意識、想像力を働かせ、対象や事象を造形的な視点で捉え、自分としての意味や価値をつくりだすなどの造形的な見方・考え方を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。</p> <p>(1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深める。</p> <p>(2)意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(3)主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化の親しみ、心豊かな生活や社会を創造する態度を養う</p>
使用教科書 副教材等	副教材 基礎から学ぶ鉛筆デッサン(代々木ゼミナール)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	目的や意図に基づいて技法や材料などの特性を理解し、効果的な表現方法を創意工夫し、計画や手順を考えることができる。	心の中の感情のイメージを基に主体的に主題を生成し、表現形式の特性と色や形などの創造的表現の構想が練ることができる。発想力や構想能力が独創的で優れている。	主体的に絵画、デザイン、工芸、彫刻などの創造活動に取り組もうとしている。 新しい課題にも意欲的に取り組んでいる。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	オリエンテーションを通じて1年間のつづける力を理解する。 素描について 描画材料の違いについて グラデーションを使った作品	授業中の行動観察 作品分析	作品分析	授業中の行動観察 進度表の記入 ・作品鑑賞力
	評価点	100	100	100
2	鉛筆による模写 幾何学形態を使った鉛筆作品	授業中の行動観察 作品分析	作品分析 作品分析	授業中の行動観察 進度表の記入 作品鑑賞力
	評価点	100	100	100

3	2つ以上のモチーフをつかった作品 3つ以上のモチーフをつかった作品	授業中の行動観察 作品分析	作品分析 作品分析	授業中の行動観察 進度表の記入 作品鑑賞力
	評価点	100	100	100

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	はじめに(オリエンテーション) ・美術への招待、これからの授業内容の確認 ①素描材料について ・鉛筆、コンテ、木炭などの描画材料を使い分けることを理解する。	4
	5	②鉛筆の持ち方について ・鉛筆の持ち方によって表現が変わることを理解する。	
	6	③鉛筆の硬さについて ・鉛筆にも濃さによって表現が変わることを理解する。	
	7	④鉛筆による明暗をグラデーションで表現する ・グラデーションによって明るさ、暗さかわることを理解する。	
2	8	①鉛筆による著名な作家の作品を模写する。 ・模写をすることによって、優れた鉛筆技法を学ぶ。	4
	9	②幾何学形態の石膏を2つ選び、鉛筆で表現する。	4
	10	・球体、円錐、直方体などの石膏から明暗関係や立体感を理解する。	
	11		
12			
3	1	2つ以上の質感の違うモチーフを鉛筆で表現する。	10
	2	・質感の異なる(石と紙など)モチーフを表現することにより、表現力を身につける。	
	3	②3つ以上の質感の違うモチーフを鉛筆で表現する ・ガラスの瓶と木とビニールのひもの3つのモチーフ。	13

5 その他

美術の基礎的な内容を通じて、表現する喜びを育てる。

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	美術探究	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		2	2	クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>探究の見方・考え方を働かせ、地域社会を担う生き方や働き方を考えながら、地域の活性化に向けた課題を解決するために必要な基本的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)地域に関わる様々な事象について探究するために必要な基本的な知識及び技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)芸術的な内容を日常生活と関連づけ、芸術を通じた地域への着手方法を自ら考え、情報収集や整理分析をして、総括・表現できる力を養う。</p> <p>(3)地域に関わる様々な事象や地域の活性化に向けた課題に知的好奇心をもって向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決に向けて挑戦しようとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	副教材

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	目的や意図に基づいて技法や材料などの特性を理解し、効果的な表現方法を創意工夫し、計画や手順を考えることができる	心の中の感情のイメージを基に主体的に主題を生成し、表現形式の特性と色や形などの創造的表現の構想を練ることができる。発想力や構想能力が独創的で優れている。	意欲的に絵画、彫刻、デザイン、工芸などの創造的活動に取り組もうとしている。 新しい課題にも意欲的に取り組んでいる。
評価点	400	400	400

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	オリエンテーションを通じて1年間のつる力を理解する。 陶芸作品 版画によるシルクスクリーン作品	授業中の行動観察 作品分析	作品分析	授業中の行動観察 進度表の記入 作品鑑賞能力
	評価点	200	200	200
2 学期	工芸作品 彫刻作品	授業中の行動観察 作品分析	作品分析	授業中の行動観察 進度表の記入 作品鑑賞能力
	評価点	100	100	100
3 学期	テンペラ絵画	授業中の行動観察 作品分析	作品分析	授業中の行動観察 進度表の記入 作品鑑賞能力
	評価点	100	100	100

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	①始めにオリエンテーションを通じて一年間のつける力を理解する。 美術への招待 今後の授業内容について理解する。	2
	5	②陶芸制作(マグカップ、茶碗) やきものとしての歴史や、制作工程を理解する。板作りによるマグカップの制作、ひも作りによる茶碗制作をする。自分が制作した器が使える喜び、楽しさを味わう。	10
	6	③切り絵の制作 カッターナイフの使い方に慣れる	8
	7	④ 版画制作の制作(シルクスクリーン) オリジナル性を重視した T シャツのデザインを考える。シルクスクリーン版画の特性を意識した上での配色計画を立てる。	6
2 学期	8	工芸について 機能性やデザイン性を考えた木のスプーン、フォーク、バターナイフの三点を通じて用と美を意識した作品作りを考える	15
	9	彫刻について	14
	10	① 篆刻 自分の名前のデザインを考える ② 連想語から彫刻作品を考える。 ・言葉からの連想から具体的な形にすることを理解する。 ・隣にある面とのつながりを大切に作品をつくる。	
	11		
12			
3 学期	1	テンペラ絵画の制作	15
2	卵を使ったテンペラの表現方法を習得することにより、絵画の楽しさを感じ取る。		
3	作品展に向けて さわやかハイスクール等を利用し、公民館での作品展を行う		

5 その他

美術の領域の絵画、デザイン、工芸、彫刻、鑑賞の5つの分野を幅広く取り入れることにより、個々の美術の探究心を養うとともに自分の制作した作品を作品展に展示することで、多くの方々に見ていただくことにより作品づくりの意義を感じるようにする。

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	実用書道	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		1	2	クリエイション

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>日常生活における書に触れる活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 書の伝統と文化に基づき、生活面においての応用的な書としての知識、技能を身に付ける。</p> <p>(2) 書の良さや美しさを感じ、状況に合わせた表現を工夫し書的美を味わい深く捉え、それを作品によって表現できるようにする。</p> <p>(3) 読み手のことを考えて、丁寧に読みやすく書こうとするとともに、何のために書くのかを考えて、それぞれの目的にふさわしい書き方で書こうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	大人のたしなみ美しいペン字練習帳 AERA lesson(朝日新聞出版)

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	書に関する見方・考え方を働かせて、書の表現方法や形式、書表現の多様性などについて書の創造的活動を通して理解するとともに、書の伝統に基づき、作品を工夫して表現するための技能を身に付け表している。	書の良さや美しさを感じ、書に関する見方・考え方を働かせて、自らの意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書を味わって深く捉えたりしている。	書の創造的活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	オリエンテーション 直線・止め・曲線・間隔のトレーニング 古典から学ぶ漢字の字形 平仮名・カタカナのマスター 日常使う言葉の練習	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	100	80	100
2	手紙を書こう レイアウトの練習(封筒や葉書の宛名書き) 筆を使った実用書(冠婚葬祭用) 年賀状を書こう	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	120	120	100
3	文章を書いてみよう(コラム等) 志望理由書・自己推薦書を書こう	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	80	100	100

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	[オリエンテーション] 実用書学習の内容を理解する。	24
	5	[直線・止め・曲線・間隔のトレーニング] 今まで書いてきた自分の字の基本点画を再確認し直すべきところは直していく。	
	6	[古典から学ぶ漢字の字形] 九成宮醜泉銘などの古典を基に、美しい漢字の点画のバランスについて分析する。	
	7	[平仮名・カタカナのマスター] 平仮名・カタカナの成り立ちから考察していき、美しい仮名文字を身に付ける。 [日常使う言葉の練習] 漢字と仮名が混ざった状態の現代の言葉や文章をどうやってバランスを取り書いていくのかを考える。	
2	8	[手紙を書こう] 大切な人にあてて便箋に直筆で手紙を書く。将来、お礼状等が書けるように。	28
	9	[レイアウトの練習(封筒や葉書の宛名書き)] 郵送のための封筒や葉書の一般的な宛名書きを学ぶ。	
	10	[筆を使った実用書] 現代でも一般的に使用されるお祝いや冠婚葬祭での実用書について、小筆だけでなく筆ペンも使用し学ぶ。	
	11	[年賀状を書こう] 親しい人やお世話になった人に年賀状を書く。	
3	1	[文章を書いてみよう] 天声人語などの文章をいかに早く美しく書けるかを学ぶ	18
	2	[志望理由書・自己推薦書を書こう] 1年間学んだ文字の書き方を実践的に使用する。美しく書くのは勿論、自分の進路に向けて自分自身を振り返っていく。	
	3		

5 その他

<p>○授業に必要な道具は各自できちんと管理してください。</p> <p>○書道で進学を考えている人は必ず担当教諭に申し出てください。</p>

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	書道探究	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		2	2	刈イイヨソ

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>探究の見方・考え方を働かせ、地域社会を担う生き方や働き方を考えながら、地域の活性化に向けた課題を解決するために必要な基本的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)地域に関わる様々な事象について探究するために必要な基本的な知識及び技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)芸術的な内容を日常生活と関連づけ、書道を通じた地域への着手方法を自ら考え、情報収集や整理分析をして、総括・表現できる力を養う。</p> <p>(3)地域に関わる様々な事象や地域の活性化に向けた課題に知的好奇心をもって向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決に向けて挑戦しようとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	改訂版 書道芸術 漢字編

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	書に関する見方・考え方を働かせて、書の表現方法や形式、書表現の多様性などについて書の創造的活動を通して理解するとともに、書の伝統に基づき、作品を工夫して表現するための技能を身に付け表している。	書の良さや美しさを感じ、書に関する見方・考え方を働かせて、自らの意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書を味わって深く捉えたりしている。	書の創造的活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。
評価点	300点	300点	300点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	オリエンテーション 仮名の書(変体仮名、連綿) 篆刻 一字書作品制作	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	100	80	100
2	漢字仮名交じり書 古典臨書制作(半紙) 自分の名前の作品化 刻字作品制作 漢字仮名交じり書作品制作(装丁も含む)	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	120	120	100
3	漢字仮名交じり書作品完成(装丁も含む)	授業課題 ワークシート記述	授業課題 ワークシート記述	行動観察 ワークシート記述
	評価点	80	100	100

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	[オリエンテーション] 書道学習の内容を理解する。 [漢字の書(応用)] 筆遣い、墨の濃淡、線質、空間処理の復習。	24
	5	[仮名の書] 古典の特徴を発見、理解し、用筆や運筆、造形や線質の習得を目指す。 また、紙面全体における構図、空間処理の意味を考察させる。	
	6	[篆刻] 作品に押印する印を作成する。 [一字書作品制作] 学習した古典をもとに一字だけでの作品制作を行う。紙面構成を考え、紙面のどの位置に文字を書くのが効果的かを考察させる。	
	7	[鑑賞] 1学期作品の相互批評を行う。今までの学習の根拠に基づいた自分の考えを述べさせるとともに、作品を見てどのように感じたかを発表させる。	
2	8	[漢字仮名交じり書] 身近な現代の文章を書くことにより、文字の持つ説得力を感じさせる。 [古典臨書制作(半紙)] 古典臨書学習で理解した表現技法を使い、古典の特徴を掴みながらそれを表現できるようにする。(公募展出品)	28
	9		
	10	[自分の名前前の作品化] 自分の名前前の文字を書道字典で調べ草稿を作り作品化する。 [刻字作品] 紙に筆書したものと木に刻したものの違いを感じ、立体的な書における表現効果を工夫し制作する。	
	11	[漢字仮名交じり書【思いを伝える書】制作](線質・潤滑・墨の濃淡・余白・紙面構成) 一人一人がテーマを持ち、漢字かな交じり書の作品制作を行う。 1年次よりも古典に根差した文字を使用した上で、自分のテーマに沿った作品を制作する。装丁も含め【思いを伝える】ため何が必要なのかを考察する。 [鑑賞] 2学期作品の相互批評を行う。今までの学習の根拠に基づいた自分の考えを述べさせるとともに、作品を見てどのように感じたかを発表させる。	
3	1	[[【思いを伝える書】完成] 2年間の学習を通して習得した表現方法や技法を使い、“誰に、何を、どのように、伝えたいか”を考えながら魅力ある作品制作を目指す。特に言葉選び、イメージ設定、表現の工夫等について試行錯誤を重ね制作する。「書」を愛好し生活の中で楽しみながら、生涯に渡り生活をより一層豊かにする姿勢を大切にする。	18
	2		
	3		

5 その他

- 授業は2時間連続で行います。
- 授業に必要な道具は各自できちんと管理してください。
- 書道で進学を考えている人は必ず担当教諭に申し出てください。

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型(文型・理型)
芸術	声楽器楽演習	6	3	文型

1 学習の到達目標

学習の到達目標	音楽の諸活動を通して幅広い知識と教養を身に付け、技能を高め、音楽的理解を深めるとともに、音楽に対する豊かな感性と音楽文化を尊重する態度を養う。
使用教科書 副教材等	教科書：教育芸術社 教芸音楽研究グループ 「Joy of Music」 副教材：The Basics of Music ※単元によってワークシートも配付する。

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①音楽への関心・意欲・態度	音や音楽に対する関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとしている。	授業態度及び持参物状況	30
②音楽表現の創意工夫	音楽が形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもっている。	練習内容・実技発表	30
③音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身につけている。	練習内容・実技発表	20
④鑑賞の能力	音楽が形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	レポート・ワークシート・紹介文など	20

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第1学期	4	10	○「時代」(中島みゆき作曲)	・歌詞に込められた思いを感じ取り、音楽を形づくっている諸要素と合わせて歌唱表現をする。	○	○	○	
	5	10	○「島人の宝」	・琉球音階について学び、歌唱表現を工夫する。	○	○	○	
	6	10	○オペラ作品鑑賞	・作品の歴史的背景をふまえ、よさを味わう。	○			○
		10	○実技発表(歌唱)		○	○	○	
	7	10	○「Rent」鑑賞		○			○
		40	◎進路別個別課題 ◎音楽通論(全学期)		○	○	○	

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第2学期	8	10	○「Vaga luna, che inargenti」 (歌唱) V. ベッリーニ作曲	・ドイツリート構成や変化に留意して感情豊かな表現を目指す。	○	○	○	
	9	10	○「Seasons of love」 (歌唱) (映画「Rent」より) J. ラーソン作詞・作曲	・英語の歌に親しむ。	○	○	○	○
	10	10	○「カントリーロード」 独奏(ギター)	・楽器の構造、チューニング法、ストローク奏法の技能、ダイアグラムやタブ譜の読み方を身につけ思いや意図をもって演奏する。	○	○	○	
	11	10	○音楽史年表作成	・西洋芸術音楽に親しみをもち、作品を鑑賞する。歴史的背景を交えながら、音楽史を理解する。	○	○	○	
	12	50	◎進路別個別課題		○	○	○	

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1	18	○ガレージバンドを用いた作曲・編曲	・反復・変化・対照などの手法を用い、音楽を形作っている8つの要素を知覚・感受し、自分のイメージに合った作品を作る。	○	○	○	
	2	12	○作品発表		○			○
	3							

4 その他

○定期考査は実施しませんが、単元ごとに実技テストや発表を行います。

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型（文型・理型）
芸術	声楽器楽演習	2	3	体育

1 学習の到達目標

学習の到達目標	音楽の諸活動を通して幅広い知識と教養を身に付け、技能を高め、音楽的理解を深めるとともに、音楽に対する豊かな感性と音楽文化を尊重する態度を養う。
使用教科書 副教材等	教科書：教育芸術社 教芸音楽研究グループ 「The Basics of Music」 副教材：The Basics of Music ※単元によってワークシートも配付する。

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①音楽への関心・意欲・態度	音や音楽に対する関心を持ち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとしている。	授業態度及び持参物状況	30
②音楽表現の創意工夫	音楽が形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽表現を工夫し、どのように表すかについて思いや意図をもっている。	練習内容・実技発表	30
③音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身につけている。	練習内容・実技発表	20
④鑑賞の能力	音楽が形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	レポート・ワークシート・紹介文など	20

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第1学期	4	4	○「時代」（中島みゆき作曲）	・歌詞に込められた思いを感じ取り、音楽を形づくっている諸要素と合わせて歌唱表現をする。	○	○	○	
	5	4	○「島人の宝」	・琉球音階について学び、歌唱表現を工夫する。	○	○	○	
	6	2	○オペラ作品鑑賞	・作品の歴史的背景をふまえ、よさを味わう。	○			○
	7	2	○実技発表（歌唱）		○	○	○	
	7	6	○「Rent」鑑賞		○			○
		10	◎音楽通論（全学期）		○	○	○	

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第2学期	8	4	○「Vaga luna, che inargenti」 (歌唱) V. ベッリーニ作曲	・ドイツリート構成や変化に留意して感情豊かな表現を目指す。	○	○	○	
	9	4	○「Seasons of love」 (歌唱) (映画「Rent」より) J. ラーソン作詞・作曲	・英語の歌に親しむ。	○	○	○	○
	10	12	○「カントリーロード」 独奏(ギター)	・楽器の構造、チューニング法、ストローク奏法の技能、ダイアグラムやタブ譜の読み方を身につけ思いや意図をもって演奏する。	○	○	○	
	11	6	○音楽史年表作成	・西洋芸術音楽に親しみをもち、作品を鑑賞する。歴史的背景を交えながら、音楽史を理解する。	○	○	○	
	12	2	○「カントリーロード」 発表(ギター)		○	○	○	

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1	10	○ガレージバンドを用いた作曲・編曲	・反復・変化・対照などの手法を用い、音楽を形作っている8つの要素を知覚・感受し、自分のイメージに合った作品を作る。	○	○	○	
	2	4	○作品発表		○		○	
	3							

4 その他

<p>○1日に2時間連続で授業があります。</p> <p>○定期考査は実施しませんが、単元ごとに実技テストや発表を行います。</p>
--

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型(文型・理型)
芸術	造形表現	6	3	文型

1 学習の到達目標

学習の到達目標	美術の創造的な諸活動を通して、生涯に渡り美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てると共に、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。
使用教科書 副教材等	教科書：日文「高校美術3」 副教材：日本文教出版「美術 表現と技法」 自主教材：授業プリント

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①美術への関心・意欲・態度	私語もなく集中して作業している。新しい課題に意欲的に取り組んでいる。	授業作品及び態度	20
②発想や構想の能力	心の中の感情のイメージを基に主体的に主題を生成し、表現形式の特性と色や形などの創造的表現の構想が練ることができる。	授業作品	35
③創造的な技能	目的や意図に基づいて技法や材料などの特性を理解し、効果的な表現方法を創意工夫し、計画や手順を考える。	授業作品	35
④鑑賞の能力	作品分析や鑑賞の視点を明確に持ち、作品の造形的な特徴を理解し、よさや美しさを味わうことができる。	授業作品	10

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第1学期	4	2	はじめに(オリエンテーション)	テーマ：幾何学形態の石膏を描く ねらい：形のとおり方、光と影の関係をとらえる	○			
	5	30	・高校美術Ⅲの学習の意義・学習内容と心構え	ねらい：幾何石膏で基礎基本を習得から、いかに身近な形態が表現できるか 質感表現・遠近表現の仕方を修得する。	○	○	○	○
	6		2 素描 ねらい：形と明暗をとらえる					
	7	15	3 素描 身近なものを描く					

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第2学期	8	25	色面構成	アクリル絵の具を使った色面構成をする。	○	○	○	○
	9	30	テーマからの色彩表現	① 実際のモチーフを5つを自由に組みあわせての色面構成をする。 ② 「輝く」「浸食」などの言葉からイメージした色と形を表現する。				
			石膏像を描く					
	10	30	大学の入試問題に合わせて	ねらい 石膏像を描くことにより、複雑な形、明暗をとらえる。	○	○	○	○
	11		過去問の実技を行う					
12								

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1	30	受験内容を意識して	デッサンのまとめ				
	2							
	3							

4 その他

<p>美大受験者は、出題内容をしっかり把握する。</p>

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型(文型・理型)
芸術	造形表現	2	3	体育

1 学習の到達目標

学習の到達目標	美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな美術の能力を高める。
使用教科書 副教材等	教科書：光村「美術2」副教材：日本文教出版「美術表現と方法」自主教材：授業プリント

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①美術への関心・意欲・態度	私語もなく集中して作業している。新しい課題に意欲的に取り組んでいる。	授業態度及び提出期限厳守	20
②発想や構想の能力	心の中の感情のイメージを基に主体的に主題を生成し、表現形式の特性と色や形などの創造的表現の構想が練ることができる。	授業作品	35
③創造的な技能	目的や意図に基づいて技法や材料などの特性を理解し、効果的な表現方法を創意工夫し、計画や手順を考える。	授業作品	35
④鑑賞の能力	作品分析や鑑賞の視点を明確に持ち、作品の造形的な特徴を理解し、よさや美しさを味わうことができる。	作品感想	10

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第1学期	4	2	はじめに(オリエンテーション)・Ⅱ年美術の学習の意義 学習内容の心構え					
	5	10	芸 : 切り絵の魅力を知り、高度な技術をマスターする。	切り絵のもつシャープな線の魅力を感じとる。 切り絵の技法を知る。(陽刻、陰刻、光の方向を意識した作品など) カッターナイフの使い方をマスターする。	○	○	○	○
	6		7	16	T シャツに自分のデザインしたものを着よう。	切り絵の技法を意識して、カッティング法を使ってこの世でたった1枚の自分がデザインしたものを着よう。 シルクスクリーンの版画技法を知る。	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点					
					①	②	③	④		
第2学期	8	10	スプーン・フォークを作る	用と美を考えてデザインする。	○	○	○	○		
	9	16	彫刻: 蠟石を使い魅力的な形を彫刻しよう	連想語からの発展 つながりを意識した立体的を大切にしよう。	○	○	○	○		
	10		11	8	12	工芸: 陶芸 テーマ「使えるものを作ろう」	茶碗の制作 ・ マグカップの制作を作ろう。	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1	4	釉薬をつける	陶芸のまとめ	○	○	○	○
	2							
	3							

その他

- ・作品が評価なので、必ず期限までに提出しよう。
- ・家に持ち帰って使えるものを作ろう。

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型(文型・理型)
芸術	書道演習	6	3	文型

1 学習の到達目標

学習の到達目標	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。
使用教科書 副教材等	教出 新編書道 I

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①書への関心・意欲・態度	書に関わる様々な学習に主体性を持って意欲的に取り組んでいる。使用する用具や用材について理解を深め、適切に扱おうとする態度を養う。	提出物(作品, 学習プリント, 硬筆練習帳), 学習態度, 発表, 用具の扱い等	33%
②書表現の構想と工夫	感性を豊かにし、古典学習で理解・習得した技法を表現に活かそうと工夫している。	各単元提出作品, 作品制作カード	33%
③創造的な書表現の技能	書の学習を通して理解した多様な書美や芸術的要素を書作品の表現に活かそうとしている。	各単元提出作品, 学習カード	17%
④鑑賞の能力	文化や時代背景と併せて美しさや特徴を分析するとともに、書を愛好する心情を高めようとしている。	学習プリント	17%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第1学期	4	72	オリエンテーション	書道演習で学習する内容と流れを知る。	○			
			連綿	仮名特有の線と運筆に慣れる。	○	○	○	
			古筆の臨書(仮名)	平安朝の格調高い造形を理解し習得をめざす。	○	○	○	○
			創作 散らし書き	よく使われる変体仮名を理解し習得をめざす。		○	○	
			漢字仮名交じりの書	連綿の原理を創作に生かす。			○	○
	5		古典の臨書(漢字)	古典の特徴を理解する。		○	○	
			漢字臨書作品制作	文字群の配置と余白の相互的な効果を考えて書く。(用筆・線質・造形・全体構成等)		○	○	○
			做書	一字での作品の制作方法を知る			○	○
			一字書	墨の色をどうやって作品に生かすかを学ぶ	○		○	○
	6		墨色について				○	○
	7		一字書作品制作	展示することの意味を考える。			○	○
第2学期	8	84	漢字創作作品制作	好きな漢詩を選び書く。	○	○	○	○
				内容にあった書体選びを行う。				
	9		篆刻	自作印を作り、作品完成後押印する。		○	○	
			古典作品制作(半紙)	臨書学習で理解した表現技法を確認し、今後の作品制作に活かそうとする態度を養う。	○	○	○	○
	10		競書大会出品	自分の姓名を書道字典で調べ草稿を制作する。			○	
		名前を作品化する	文字の大きさ, 配置に留意する。				○	
	11		立体的な書の学習	紙に筆書したものと木などに刻したものの違いを分析し、立体的な書に生まれる表現効果を工夫し制作する。参考作品の鑑賞を通して自分の作品における表現技法の構想を練る。		○	○	
			刻字作品制作			○	○	○
	12		参考作品鑑賞				○	○
			制作			○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1	54	彫刻 着色 装丁 作品鑑賞	文字や語句の内容に合った色彩について考える。 完成した作品を相互に鑑賞し、それぞれの作品の魅力について意見交換を行う。 「書」を愛好し生活の中で楽しみながら生涯にわたり生活をよりいっそう豊かにする姿勢を大切にす る。	○		○	
	2				○	○		○
	3				○			○

4 その他

書道 I から発展させもっと広い視野で書道を捉え、自分を見つめる機会を作るとともに、書道をどのように生かせば生活が豊かになるかを考えていきましょう。

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型(文型・理型)
芸術	書道演習	2	3	体育

1 学習の到達目標

学習の到達目標	書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。
使用教科書 副教材等	書 I 東書 AERA MOOK 大人のたしなみ 美しいペン字練習帳 AERA lesson

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①書への関心・意欲・態度	書に関わる様々な学習に主体性を持って意欲的に取り組んでいる。使用する用具や用材について理解を深め、適切に扱おうとする態度を養う。	提出物(作品, 学習プリント, 硬筆練習帳), 学習態度, 発表, 用具の扱い等	33%
②書表現の構想と工夫	感性を豊かにし、古典学習で理解・習得した技法を表現に活かそうと工夫している。	各単元提出作品, 作品制作カード	33%
③創造的な書表現の技能	書の学習を通して理解した多様な書美や芸術的要素を書作品の表現に活かそうとしている。	各単元提出作品, 学習プリント	17%
④鑑賞の能力	愛好する心情を高めようとしている。	学習プリント	17%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第1学期	4	24	オリエンテーション 仮名の書の学習 基本用筆	書道Ⅱで学習する内容の流れを知る。 小筆の持ち方, 構え, 角度や硯, 固形墨などの扱い方を理解する。仮名特有の線と運筆に慣れる。 平安朝の格調高い造形を理解し習得をめざす。 よく使われる変体仮名を理解し習得をめざす。	○			
	5		連綿	連綿の原理を理解する。	○	○	○	○
	6		古筆の臨書(仮名) 創作 散らし書き	古典の特徴を理解する。	○	○	○	○
	7		古典の臨書(漢字) 漢字作品創作	文字群の配置と余白の相互的な効果を考えて書く。(用筆・線質・造形・全体構成等)	○	○	○	○
第2学期	8	28	古典作品制作(半紙)	古典臨書学習で理解した表現技法を参考資料や見本がなくても意図した古典の特徴が表現できるよう作品を制作する。自分に不足している表現技法について確認し、段階的な向上に努めることにより今後の作品制作に活かそうとする態度を養う。	○	○	○	○
	9		自分の名前を作品化する	自分の姓名(草書)を書道字典で調べ草稿を制作する。文字の大きさ, 配置に留意する	○	○	○	○
	10		立体的な書の学習	紙に筆書したものと木などに刻したものの違いを分析し、立体的な書に生まれる表現効果を工夫し制作する。参考作品の鑑賞を通して自分の作品における表現技法の構想を練る。	○	○	○	○
	11		刻字作品制作 参考作品鑑賞 制作		○	○	○	○
	12				○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1	18	彫刻 着色 装丁 作品鑑賞	文字や語句の内容に合った色彩について考える。 完成した作品を相互に鑑賞し、それぞれの作品の魅力について意見交換を行う。 「書」を愛好し生活の中で楽しみながら生涯にわたり生活をよりいっそう豊かにする姿勢を大切に する。	○		○	
	2				○		○	
	3				○			○

4 その他

生活の中において書道をどう使っていくと豊かな生活ができるかを考えていきましょう。
また、作品制作の過程で自分自身を見つめなおし、より具体的で効率的な自己表現とは何かを考えましょう。

様式7

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	英語コミュニケーション I	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		3	1	全

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>日常的・社会的な話題について、支援を活用しながら、</p> <ol style="list-style-type: none"> 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる能力を養う。 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる能力を養う。 基本的な語句や文を用いて、情報や考えを話すことによって、相手と共有したりやりとりを続けたり、論理的に伝え合ったりすることができる能力を養う。 基本的な語句や文を用いて、書くことによって情報や考えを論理的に伝えることができる能力を養う。
使用教科書 副教材等	<p>・教科書:MY WAY English Communicaiton I (三省堂)</p> <p>・副教材:MY WAY English Communicaiton I Workbook (三省堂)</p> <p>英単語ターゲット 1900(旺文社)</p> <p>Listening Box PRE 三訂版(啓林館)</p> <p>英語総合問題集 Wonderland 3rd Edition 1&1.5(いいずな書店)</p> <p>2023 年度スタディサプリ到達度テストチェックテストキット(リクルート)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。</p> <p>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自立的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>
評価点	250 点	250 点	250 点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	Lesson1 Proverbs Around the World Lesson2 Iwago Mitsuaki Lesson3 Sending Canned Mackerel to Space Lesson4 Messages from Winnie-the-Pooh	<p>・定期考査</p> <p>・課題考査</p> <p>・小テスト</p> <p>・学びの基礎診断</p> <p>・到達度テスト SS</p>	<p>・定期考査</p> <p>・課題考査</p> <p>・パフォーマンステスト</p>	<p>・小テスト</p> <p>・パフォーマンステスト</p> <p>・学習課題</p> <p>・動画視聴 SS</p> <p>・授業観察</p> <p>・授業や考査の振り返り</p>
	評価点	300 点	100 点	100 点

2 学 期	Lesson5 Endangered Languages Lesson6 A Wheelchair Traveler Lesson7 The Fugees Lesson8 Avatar Robots	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト ・学びの基礎診断 ・到達度テスト SS	・定期考査 ・課題考査 ・パフォーマンス テスト	・小テスト ・パフォーマンス テスト ・学習課題 ・動画視聴 SS
	評価点 300点	100点	100点	100点
3 学 期	Lesson9 Kadono Eiko and the power of Imagination Lesson10 SDGs	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト ・学びの基礎診断	・定期考査 ・課題考査 ・パフォーマンス テスト	・授業観察 ・授業や考査の振り 返り
	評価点 150点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
1 学 期	4	Lesson1 Proverbs Around the World (文法) 現在形・過去形/進行形/ SVO(O=that 節) (活動) 紹介したいことわざについて意見を交換し、発表する。	10	
	5	Lesson2 Iwago Mitsuaki (文法) 助動詞 / 受け身 /助動詞のついた受け身 (活動) 飾りたい写真について意見を交換し、発表する。 1学期期中間考査	10	
	6	Lesson3 Sending Canned Mackerel to Space (文法) 動名詞 / to 不定詞の名詞的用法・副詞的用法 / to 不定詞の形容詞的用法	10	
	7	(活動) 宇宙で食べたい日本食について意見を交換し、発表する。 Lesson4 Messages from Winnie-the Pooh (文法) 現在完了形 / 現在完了進行形 / 過去完了形 (活動) 紹介したい日本の物語について意見を交換し、発表する。 学びの基礎診断	10	
			パフォーマンス課題1 1学期期末考査	

2 学 期	8	Lesson5 Endangered Languages (文法) 関係代名詞(主格) / 関係代名詞(目的格) / 関係代名詞 what /It is ... to 不定詞 (活動) 英語以外に学びたい言語について、意見を交換してまとめ、発表することができる。	10
	9	Lesson6 A Wheelchair Traveler (文法) 現在分詞の形容詞的用法 / 過去分詞の形容詞的用法 / 分詞構文 /It is ... that (活動) 海外からの旅行者に勧める日本の都市について、意見を交換してまとめ、発表する。	10
	10	1学期期中間考査	
	11	Lesson7 The Fugees (文法) 関係副詞 where / 関係副詞 when /関係副詞 why / 比較級・最上級 (活動) 自分ができるボランティア活動について、意見を交換してまとめ、発表する。	12
	12	Lesson8 Avatar Robots (文法) 条件を表す if 節 / 仮定法過去 /I wish ~ / as if ~ (活動) 望まれる未来の技術や製品について、意見を交換してまとめ、発表する。 <div style="text-align: right;">パフォーマンス課題2</div> 2学期期末考査	10
学びの基礎診断(4技能 GTEC)			
3 学 期	1	学びの基礎診断	12
	2	Lesson9 Kadono Eiko and the power of Imagination (文法) SVO1O2(O2=how to~) / SVO + to 不定詞/ SVOC(C=動詞の原形) / SVOC(C=現在分詞) (活動) 一人で暮らすことと家族と暮らすことについて、意見を交換してまとめ、発表することができる。	11
	3	Lesson10 SDGs (活動) SDGs に関する問題について、グループで調査してまとめ、発表する。 <div style="text-align: right;">パフォーマンス課題3</div> 学年末考査	

5 その他

- 英語コミュニケーションⅠの授業では、ペア学習やグループ学習を取り入れ、「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」を総合的に育成していきます。様々な意見や考えに触れながら協同的に学習を進めていきます。
- 学期ごとに教科書の内容と関連させたパフォーマンス課題を設定し、個人あるいはグループで課題に取り組んでもらいます。学習した内容がベースとなるので、日々の授業を大切に、積極的に取り組みましょう。
- 授業の中や学習課題の提出、あるいはパフォーマンステストにおいて、ICT 機器を活用していきます。

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	論理・表現 I	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		3	1	普通

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>外国語による話すこと(やり取り・発表)、書くことの言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1)外国語の語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題について外国語で適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。</p> <p>(3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書： be English Logic and Expression I (いっずな書店)</p> <p>副教材： be English Logic and Expression I Clear Essential Grammar Book(いっずな書店)</p> <p>総合英語 be Voyage to English Grammar 4th Edition(いっずな書店)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	コミュニケーションに必要な習得すべき知識や重要な概念を理解し、それらを既習の知識や技能と効果的に関連付け、実際のコミュニケーションの場面で活用できる技能を身に付けている。	具体的な課題を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、情報を整理しながら考えを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現する力を身に付けている。	知識・技能の習得に粘り強く取り組み、実際のコミュニケーション活動においては、情報や自分自身の考えを表現し、伝え合うことに主体的に関わり、課題や日々の授業の振り返りを通じて、自らの学習を深化させようとしている。
評価点	250点	250点	250点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	Lesson 1 Meeting people Lesson 2 Holidays and Weekends Lesson 3 Making Plans Lesson 4 Travel Lesson 5 Study and Activities Lesson 6 Food Culture Lesson 7 School Life Lesson 8 Daily Life Lesson 9 Transportation Issues	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・課題テスト ・小テスト ・学びの基礎診断 ・到達度テスト SS 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・パフォーマンステスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・パフォーマンステスト ・課題提出 ・授業観察 ・リフレクションシート の記述分析 ・動画視聴 SS
	300点	100点	100点	100点

2 学 期	Lesson 10 Future Activities Lesson 11 Staying Healthy Lesson 12 New Products Lesson 13 Hobbies and Interests Lesson 14 The World of Nature Lesson 15 Trouble and Accidents Lesson 16 Inventions Lesson 17 Cities and Towns	・定期考査 ・課題テスト ・小テスト ・学びの基礎診断 ・到達度テスト SS	・定期考査 ・パフォーマンス テスト	・小テスト ・パフォーマンス テスト ・課題提出 ・授業観察 ・リフレクションシ ートの記述分析 ・動画視聴 SS
	300点	100点	100点	100点
3 学 期	Lesson 18 Living Environment Lesson 19 Social Problems Lesson 20 Making a Wish	・定期考査 ・課題テスト ・小テスト ・学びの基礎診断 ・到達度テスト SS	・定期考査 ・パフォーマンス テスト	・小テスト ・パフォーマンス テスト ・課題提出 ・授業観察 ・リフレクションシ ートの記述分析 ・動画視聴 SS
	150点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	Lesson 1 Meeting people 【Grammar】現在形 【Activity】自分のことを話す	10
		Lesson 2 Holidays and Weekends 【Grammar】過去形 【Activity】休日・週末にしたことを話す	
	5	Lesson 3 Making Plans 【Grammar】未来のことを表す 【Activity】予定について話す	10
		Lesson 4 Travel 【Grammar】現在完了形 【Activity】旅行について話す	
	6	Lesson 5 Study and Activities 【Grammar】過去完了形 【Activity】学習・課外活動について話す	10
		1学期中間考査	
	7	Lesson 6 Food Culture 【Grammar】助動詞① 【Activity】食文化について話す	10
Lesson 7 School Life 【Grammar】助動詞② 【Activity】学校生活について話す			

		<p>Lesson 8 Daily Life 【Grammar】助動詞③ 【Activity】日常生活について話す</p> <p>Lesson 9 Transportation Issues 【Grammar】受動態 【Activity】交通機関の問題について話す</p>			<p>パフォーマンス課題 1</p> <p>1 学期期末考査</p>
2 学 期	8	<p>Lesson 10 Future Activities 【Grammar】不定詞①(名詞的用法) 【Activity】将来したい活動について話す</p>	4		
	9	<p>Lesson 11 Staying Healthy 【Grammar】不定詞②(形容詞的用法・副詞的用法) 【Activity】健康について話す</p>	8		
	10	<p>Lesson 12 New Products 【Grammar】不定詞③ 【Activity】新しい製品について話す</p>	10		
		<p>Lesson 13 Hobbies and Interests 【Grammar】動名詞 【Activity】趣味・関心について話す</p>			2 学期中間考査
	11	<p>Lesson 14 The World of Nature 【Grammar】分詞① 【Activity】自然について話す</p> <p>Lesson 15 Trouble and Accidents 【Grammar】分詞② 【Activity】トラブル・事故について話す</p>	10		
	12	<p>Lesson 16 Inventions 【Grammar】関係代名詞 【Activity】発明について話す</p> <p>Lesson 17 Cities and Towns 【Grammar】関係副詞 【Activity】都市・町について話す</p>	10		<p>パフォーマンス課題 2</p> <p>2 学期期末考査</p>
3 学 期	1	<p>Lesson 18 Living Environment 【Grammar】比較①(原級・比較級) 【Activity】生活環境について話す</p>	8		
	2	<p>Lesson 19 Social Problems 【Grammar】比較②(最上級) 【Activity】社会問題について話す</p>	8		
	3	<p>Lesson 20 Making a Wish 【Grammar】仮定法 【Activity】願い事について話す</p>	7		<p>パフォーマンス課題 3</p> <p>学年末考査</p>

5 その他

- 論理・表現 I の授業の1単位は ALT の英会話の授業になります。
- 单元ごとの振り返りやパフォーマンス課題の一部は ICT 機器を活用して行います。
- 表現活動の基礎を支える文法や語法の理解に努め、演習を繰り返す中で定着できるように励んでください。
- 論理・表現 I の授業では、自分の意見を話したり、書いたりして相手に伝えたり、発表したりする表現活動を中心に行います。間違いを恐れずに、主体的に取り組んでください。

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	論理・表現 I	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		2	1	体育

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>外国語による話すこと(やり取り・発表)、書くことの言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1)外国語の語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題について外国語で適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。</p> <p>(3)外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書： be English Logic and Expression I (いっずな書店)</p> <p>副教材： be English Logic and Expression I Clear Essential Grammar Book(いっずな書店)</p> <p>総合英語 be Voyage to English Grammar 4th Edition(いっずな書店)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	コミュニケーションに必要な習得すべき知識や重要な概念を理解し、それらを既習の知識や技能と効果的に関連付け、実際のコミュニケーションの場面で活用できる技能を身に付けている。	具体的な課題を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、情報を整理しながら考えを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現する力を身に付けている。	知識・技能の習得に粘り強く取り組み、実際のコミュニケーション活動においては、情報や自分自身の考えを表現し、伝え合うことに主体的に関わり、課題や日々の授業の振り返りを通じて、自らの学習を深化させようとしている。
評価点	250点	250点	250点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	Lesson 1 Meeting people Lesson 2 Holidays and Weekends Lesson 3 Making Plans Lesson 4 Travel Lesson 5 Study and Activities Lesson 6 Food Culture Lesson 7 School Life Lesson 8 Daily Life Lesson 9 Transportation Issues	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・課題テスト ・小テスト ・学びの基礎診断 ・到達度テスト SS 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・パフォーマンステスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テスト ・パフォーマンステスト ・課題提出 ・授業観察 ・リフレクションシート の記述分析 ・動画視聴 SS
	300点	100点	100点	100点

2 学 期	Lesson 10 Future Activities Lesson 11 Staying Healthy Lesson 12 New Products Lesson 13 Hobbies and Interests Lesson 14 The World of Nature Lesson 15 Trouble and Accidents Lesson 16 Inventions Lesson 17 Cities and Towns	・定期考査 ・課題テスト ・小テスト ・学びの基礎診断 ・到達度テスト SS	・定期考査 ・パフォーマンス テスト	・小テスト ・パフォーマンス テスト ・課題提出 ・授業観察 ・リフレクションシ ートの記述分析 ・動画視聴 SS
	300点	100点	100点	100点
3 学 期	Lesson 18 Living Environment Lesson 19 Social Problems Lesson 20 Making a Wish	・定期考査 ・課題テスト ・小テスト ・学びの基礎診断 ・到達度テスト SS	・定期考査 ・パフォーマンス テスト	・小テスト ・パフォーマンス テスト ・課題提出 ・授業観察 ・リフレクションシ ートの記述分析 ・動画視聴 SS
	150点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数	
1 学 期	4	Lesson 1 Meeting people 【Grammar】現在形 【Activity】自分のことを話す Lesson 2 Holidays and Weekends 【Grammar】過去形 【Activity】休日・週末にしたことを話す	8	
	5	Lesson 3 Making Plans 【Grammar】未来のことを表す 【Activity】予定について話す Lesson 4 Travel 【Grammar】現在完了形 【Activity】旅行について話す	6	
	6	Lesson 5 Study and Activities 【Grammar】過去完了形 【Activity】学習・課外活動について話す	8	
	1学期中間考査			
			Lesson 6 Food Culture 【Grammar】助動詞① 【Activity】食文化について話す	
	7	Lesson 7 School Life 【Grammar】助動詞② 【Activity】学校生活について話す	6	

		<p>Lesson 8 Daily Life 【Grammar】助動詞③ 【Activity】日常生活について話す</p> <p>Lesson 9 Transportation Issues 【Grammar】受動態 【Activity】交通機関の問題について話す</p>		<p style="text-align: right;">パフォーマンス課題 1</p> <p style="text-align: right;">1 学期期末考查</p>
2 学 期	8	<p>Lesson 10 Future Activities 【Grammar】不定詞①(名詞的用法) 【Activity】将来したい活動について話す</p>	4	
	9	<p>Lesson 11 Staying Healthy 【Grammar】不定詞②(形容詞的用法・副詞的用法) 【Activity】健康について話す</p>	6	
	10	<p>Lesson 12 New Products 【Grammar】不定詞③ 【Activity】新しい製品について話す</p>	6	
		<p>Lesson 13 Hobbies and Interests 【Grammar】動名詞 【Activity】趣味・関心について話す</p>		
		<p>Lesson 14 The World of Nature 【Grammar】分詞① 【Activity】自然について話す</p>		2 学期中間考查
	11	<p>Lesson 15 Trouble and Accidents 【Grammar】分詞② 【Activity】トラブル・事故について話す</p>	6	
12	<p>Lesson 16 Inventions 【Grammar】関係代名詞 【Activity】発明について話す</p>	6		
	<p>Lesson 17 Cities and Towns 【Grammar】関係副詞 【Activity】都市・町について話す</p>			
				パフォーマンス課題 2 2 学期期末考查
3 学 期	1	<p>Lesson 18 Living Environment 【Grammar】比較①(原級・比較級) 【Activity】生活環境について話す</p>	5	
	2	<p>Lesson 19 Social Problems 【Grammar】比較②(最上級) 【Activity】社会問題について話す</p>	5	
	3	<p>Lesson 20 Making a Wish 【Grammar】仮定法 【Activity】願い事について話す</p>	4	パフォーマンス課題 3 学年末 考查

5 その他

- 単元ごとの振り返りやパフォーマンス課題の一部は ICT 機器を活用して行います。
- 表現活動の基礎を支える文法や語法の理解に努め、演習を繰り返す中で定着できるように励んでください。
- 論理・表現 I の授業では、自分の意見を話したり、書いたりして相手に伝えたり、発表したりする表現活動を中心に行います。間違いを恐れずに、主体的に取り組んでください。

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	英語コミュニケーションⅡ	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		4	2	全

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用することで、</p> <ol style="list-style-type: none"> 積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとすることができる。 聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解することができる。 書いたり話したりして、情報や考えなどを適切に伝えることができる。 言語や運用についての知識を身につけ、背景にある文化を理解することができる。
使用教科書 副教材等	<p>・教科書:「Power On English Communication II」(東京書籍)</p> <p>・副教材:「Power On English Communication II WORKBOOK」(東京書籍)</p> <p>「英単語ターゲット 1900」(旺文社)</p> <p>「リスニング問題集 ALL EARS BASIC」(美誠社)</p> <p>「英語総合問題集 TREASURE HUNT New Edition 2」(いっずな書店)</p> <p>「英語総合問題集 TREASURE HUNT New Edition 3」(いっずな書店)</p> <p>「Smart Reader Basic」(いっずな書店) フロンティア用</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。</p> <p>・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>
評価点	250点	250点	250点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1学期	Lesson1 Take a Shot or Not Lesson2 Ethical Fashion Lesson3 Landfill Harmonic Lesson4 Icons of Scotland	<p>・定期考査</p> <p>・課題考査</p> <p>・小テスト</p> <p>・学びの基礎診断</p>	<p>・定期考査</p> <p>・パフォーマンステスト</p>	<p>・小テスト</p> <p>・パフォーマンステスト</p> <p>・学習課題</p> <p>・リフレクションシート の記述分析</p>
	評価点	300点	100点	100点

2 学期	Lesson5 Japan's Secret Health Food Lesson6 Vegetable Factories Lesson7 The Power of Color Lesson8 Miu and Mima, Friendly but Tough Competitors	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト ・学びの基礎診断	・定期考査 ・パフォーマンステスト	・小テスト ・パフォーマンステスト ・学習課題 ・リフレクションシート の記述分析
	評価点 300点	100点	100点	100点
3 学期	Lesson9 From Owning to Sharing Lesson10 Solar Cooking	・定期考査 ・課題考査 ・小テスト ・学びの基礎診断	・定期考査 ・パフォーマンステスト	・小テスト ・パフォーマンステスト ・学習課題 ・リフレクションシート の記述分析
	評価点 150点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学期	4	Lesson1 Take a Shot or Not (文法)・It is [was] + 形容詞 [名詞] + that 節・関係代名詞 what・現在完了進行形 (活動) ストリートピアノが設置された経緯について、わかりやすく紹介する	12
	5	Lesson2 Ethical Fashion (文法)・助動詞 + 受け身・強調構文・S + V + O [= 疑問詞 + to 不定詞] (活動) 好きなファッションブランドの絵師カルナ活動について、発表する。	12
	6	パフォーマンス課題1 1学期中間考査	4
	7	Lesson3 Landfill Harmonic (文法)・関係副詞 where・過去完了形・S + V [= 使役動詞] + O + C [= 原形不定詞] (活動) インタビューしたい有名人について調べ、インタビュー番組を作る。	12
		Lesson4 Icons of Scotland (文法)・関係代名詞の非制限用法・S + V [= 知覚動詞] + O + C [= 現在分詞] ・S + appear(s) [seem(s)] + to 不定詞 (活動) 海外のユニークな自動販売機について調べ、自分の意見を交えて発表する。	12
		パフォーマンス課題2 1学期期末考査	4
		学びの基礎診断	

2 学 期	8	Lesson5 Japan's Secret Health Food (文法)・分詞構文(過去分詞)・倍数表現・直前の文の内容を先行詞とする which ・形式目的語 it[=to 不定詞] 9 (活動)ブレイルノイエの利点と活用方法について、ペアで考えて発表する。	12
	10	Lesson6 Vegetable Factories (文法)・進行形の受け身・It appears[seems]+that 節・未来完了形 (活動)キャッシュレス社会について賛成・反対両方の意見をまとめ、自分の意見を発表する。	12
	11		4
			2学期中間考査
	12	Lesson7 The Power of Color (文法)・同格を表す接続詞 that・前置詞+関係代名詞・関係代名詞 whose の制限用法 ・propose など+that+S+V[=動詞の原形] (活動)色の心理的効果を考慮して、部屋の壁の色について提案をする。	12
3 学 期	1	Lesson8 Miu and Mima, Friendly but Tough Competitors (文法)・付帯状況を表す with・while[when](+S+be 動詞) ・to+have+過去分詞・助動詞+have+過去分詞 (活動)ある製品の詳細を説明しながら、製品を紹介する。	12
	2		4
			2学期期末考査
	学びの基礎診断(4技能 GTEC)		
1	学びの基礎診断		
2	Lesson9 From Owning to Sharing (文法)・強調表現(助動詞による強調)・It is[was] said+that 節・形式目的語 it[=that 節] ・過去完了進行形(活動)e スポーツクラブ設立に関し、意見の異なる相手を説得する (活動)アメリカの女性の就労について質問カードを作り、ペアでインタビュー活動を行う。	12	
3	Lesson10 Solar Cooking (文法)・be 動詞+to 不定詞・wish+仮定法過去 ・関係副詞 where の非制限用法・関係副詞 when の非制限用法 (活動)私たちの生活に役立つロボットを考案し、原稿とイラストを使って発表する。	12	
		4	
		学年末考査	

5 その他

- 英語コミュニケーションⅡの授業では、ペア学習やグループ学習を取り入れ、「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」を総合的に育成していきます。様々な意見や考えに触れながら協同的に学習を進めていきます。
- 学期ごとに教科書の内容と関連させたパフォーマンス課題を設定し、個人あるいはグループで課題に取り組んでもらいます。学習した内容がベースとなるので、日々の授業を大切に、積極的に取り組みましょう。
- 授業の中や学習課題の提出、あるいはパフォーマンステストにおいて、ICT 機器を活用していきます。

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	論理・表現Ⅱ	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		2	2	普通

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>外国語による話すこと(やり取り・発表)、書くことの言語活動及びこれらをつなげた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1)外国語の語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題について外国語で適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書： Harmony English Logic and Expression II (いっずな書店)</p> <p>副教材： Harmony English Logic and Expression I Grammar Book(いっずな書店)</p> <p>Grammar Station 高校英文法の標準トレーニング(いっずな書店)</p> <p>Next Stage 英文法・語法問題 4th edition(桐原書店)</p> <p>デュアルスコープ総合英語(数研出版)</p> <p>Steady Steps to Writing 和文分析から始める英作文(数研出版) フロンティア</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。
評価点	250点	250点	250点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	Introduction「論理的に考える」ためのウォーミングアップ Lesson1 During Spring Vacation Lesson2 My Favorite Star Lesson3 My Career Path Lesson4 Talking about Japanese Culture Lesson5 Disaster Prevention	・定期考査 ・課題テスト ・小テスト ・学びの基礎診断	・定期考査 ・パフォーマンステスト	・小テスト ・パフォーマンステスト ・学習課題 ・リフレクションシートの記述分析
	300点	100点	100点	100点
2 学 期	Lesson6 Town Planning Lesson7 Foods and People Lesson8 ICT and Universal Design	・定期考査 ・課題テスト ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンステスト	・小テスト ・パフォーマンステスト

2 学 期	Lesson9 Toward World Peace Lesson10 Volunteering Abroad Lesson11 Health and Lifespan	・学びの基礎診断		・学習課題 ・リフレクションシート の記述分析
	300点	100点	100点	100点
3 学 期	Lesson 12 If the World Were ... Lesson 13 Culture and Perception Lesson 14 World Report Lesson 15 Be Yourself	・定期考査 ・課題テスト ・小テスト ・学びの基礎診断	・定期考査 ・パフォーマンス テスト	・小テスト ・パフォーマンス テスト ・学習課題 ・リフレクションシート の記述分析
	150点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	Lesson 1 During Spring Vacation 【Grammar】現在形, 過去形, 未来の表現 【Activity】 最近の出来事に関する会話を聞いて理解し, 質問に答える	4
	5	Lesson 2 My Favorite Star 【Grammar】現在完了形・過去完了形 【Activity】 有名人の経歴に関する会話を聞いて理解し, 質問に答える。	4
	6	パフォーマンス課題 1 1学期中間考査	2
		Lesson 3 My Career Path 【Grammar】助動詞 【Activity】 将来のキャリアに関する会話を聞いて理解し, 質問に答える。	4
	7	Lesson 4 Talking about Japanese Culture 【Grammar】受動態 【Activity】 日本の文化・ものに関する会話を聞いて理解し, 質問に答える。	4
		Lesson 5 Disaster Prevention 【Grammar】不定詞(名詞用法・形容詞用法・副詞用法) 【Activity】 ・防災に関する文章を読んで理解し, 文章を書いたり, 発表したりする。	4
		パフォーマンス課題 2 1学期期末考査	2

2 学 期	8	Lesson 6 Town Planning 【Grammar】不定詞	4
	9	【Activity】 都市構造に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。	
		Lesson 7 Foods and People 【Grammar】動名詞	4
	10	【Activity】 食に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。	
		Lesson 8 ICT and Universal Design 【Grammar】分詞 【Activity】 ICT とバリアフリー社会に関する文章を読んで理解し、文章を書く。	4
		パフォーマンス課題3 2 学期中間考査	2
3 学 期	11	Lesson 9 Toward World Peace 【Grammar】関係代名詞 【Activity】 世界平和に貢献した人々に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。	4
		Lesson 10 Volunteering Abroad 【Grammar】関係副詞 【Activity】 ボランティアに関する文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。	4
	12	パフォーマンス課題4 2 学期期末考査	2
	1	Lesson 11 Health and Lifespan 【Grammar】比較 【Activity】 健康と生活に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。	4
3 学 期		Lesson 12 If the World Were ... 【Grammar】仮定法 【Activity】 異なる視点に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。	4
	2	Lesson 13 Culture and Perception 【Grammar】否定・疑問文 【Activity】 文化と認知の関係に関する文章を読んで理解し、文章を書く。	4
		Lesson 14 World Report 【Grammar】時制の一致・話法 【Activity】 ニュースの内容に関する文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。	4
	3	Lesson 15 Be Yourself 【Grammar】要求／提案を表す動詞・無生物主語・強調構文 【Activity】 自分らしい生き方に関する文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。	4
		パフォーマンス課題5 学年末考査	2

5 その他

- 単元ごとの振り返りやパフォーマンス課題の一部は ICT 機器を活用して行います。
- 表現活動の基礎を支える文法や語法の理解に努め、演習を繰り返す中で定着できるように励んでください。
- 論理・表現Ⅱの授業では、自分の意見を話したり、書いたりして相手に伝えたり、発表したりする表現活動を中心に行います。間違いを恐れずに、主体的に取り組んでください。

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	論理・表現Ⅱ	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		3	2	体育

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>外国語による話すこと(やり取り・発表)、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次の通り育成することを目指す。</p> <p>(1)外国語の語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題について外国語で適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書：Harmony English Logic and Expression Ⅱ(いっずな書店)</p> <p>副教材：Harmony English Logic and Expression I Grammar Book(いっずな書店)</p> <p>Grammar Station 高校英文法の標準トレーニング(いっずな書店)</p> <p>Next Stage 英文法・語法問題 4th edition(桐原書店)</p> <p>デュアルスコープ総合英語(数研出版)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。
評価点	250点	250点	250点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学 期	Introduction「論理的に考える」ためのウォーミングアップ Lesson1 During Spring Vacation Lesson2 My Favorite Star Lesson3 My Career Path Lesson4 Talking about Japanese Culture Lesson5 Disaster Prevention	・定期考査 ・課題テスト ・小テスト ・学びの基礎診断	・定期考査 ・パフォーマンステスト	・小テスト ・パフォーマンステスト ・学習課題 ・リフレクションシートの記述分析
	300点	100点	100点	100点
2 学 期	Lesson6 Town Planning Lesson7 Foods and People Lesson8 ICT and Universal Design	・定期考査 ・課題テスト ・小テスト	・定期考査 ・パフォーマンステスト	・小テスト ・パフォーマンステスト

	Lesson9 Toward World Peace Lesson10 Volunteering Abroad Lesson11 Health and Lifespan	・学びの基礎診断		・学習課題 ・リフレクションシート の記述分析
	300点	100点	100点	100点
3 学 期	Lesson 12 If the World Were … Lesson 13 Culture and Perception Lesson 14 World Report Lesson 15 Be Yourself	・定期考査 ・課題テスト ・小テスト ・学びの基礎診断	・定期考査 ・パフォーマンス テスト	・小テスト ・パフォーマンス テスト ・学習課題 ・リフレクションシート の記述分析
	150点	50点	50点	50点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1 学 期	4	Lesson 1 During Spring Vacation 【Grammar】現在形, 過去形, 未来の表現 【Activity】 最近の出来事に関する会話を聞いて理解し, 質問に答える	6
	5	Lesson 2 My Favorite Star 【Grammar】現在完了形・過去完了形 【Activity】 有名人の経歴に関する会話を聞いて理解し, 質問に答える。	6
	6	パフォーマンス課題 1 1学期中間考査	2
		Lesson 3 My Career Path 【Grammar】助動詞 【Activity】 将来のキャリアに関する会話を聞いて理解し, 質問に答える。	6
	7	Lesson 4 Talking about Japanese Culture 【Grammar】受動態 【Activity】 日本の文化・ものに関する会話を聞いて理解し, 質問に答える。	6
		Lesson 5 Disaster Prevention 【Grammar】不定詞(名詞用法・形容詞用法・副詞用法) 【Activity】 ・防災に関する文章を読んで理解し, 文章を書いたり, 発表したりする。	6
		パフォーマンス課題 2 1学期期末考査	2

2 学 期	8	Lesson 6 Town Planning 【Grammar】不定詞	6
	9	【Activity】 都市構造に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。	
		Lesson 7 Foods and People 【Grammar】動名詞	6
	10	【Activity】 食に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。	
		Lesson 8 ICT and Universal Design 【Grammar】分詞	6
		【Activity】 ICT とバリアフリー社会に関する文章を読んで理解し、文章を書く。 パフォーマンス課題3 2 学期中間考査	2
	11	Lesson 9 Toward World Peace 【Grammar】関係代名詞	6
		【Activity】 世界平和に貢献した人々に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。	
		Lesson 10 Volunteering Abroad 【Grammar】関係副詞	6
	12	【Activity】 ボランティアに関する文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 パフォーマンス課題4 2 学期期末考査	2
3 学 期	1	Lesson 11 Health and Lifespan 【Grammar】比較	7
		【Activity】 健康と生活に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。	
		Lesson 12 If the World Were ... 【Grammar】仮定法	7
	2	【Activity】 異なる視点に関する会話を聞いて理解し、質問に答える。	
		Lesson 13 Culture and Perception 【Grammar】否定・疑問文	7
		【Activity】 文化と認知の関係に関する文章を読んで理解し、文章を書く。	
		Lesson 14 World Report 【Grammar】時制の一致・話法	7
	3	【Activity】 ニュースの内容に関する文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。	
		Lesson 15 Be Yourself 【Grammar】要求／提案を表す動詞・無生物主語・強調構文	7
		【Activity】 自分らしい生き方に関する文章を読んで理解し、文章を書いたり、発表したりする。 パフォーマンス課題5 学年末考査	2

5 その他

- 論理・表現Ⅱの授業の1単位は ALT の英会話の授業になります。
- 単元ごとの振り返りやパフォーマンス課題の一部は ICT 機器を活用して行います。
- 表現活動の基礎を支える文法や語法の理解に努め、演習を繰り返す中で定着できるように励んでください。
- 論理・表現Ⅱの授業では、自分の意見を話したり、書いたりして相手に伝えたり、発表したりする表現活動を中心に行います。間違いを恐れずに、主体的に取り組んでください。

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型（文型・理型）
英語	コミュニケーション英語Ⅲ	4	3	普通

1 学習の到達目標

学習の到達目標	英語を通して、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。また、英語を通して、多様なものの見方や考え方を理解し、自国のこと、諸外国のことを知り、広い視野から国際理解を深める。
使用教科書 副教材等	教科書：NEW ONE WORLD Communication III Revised Edition（教育出版） 副教材：NEW ONE WORLD Communication III Revised Edition『予習・復習ノート』（教育出版） 必携英単語 LEAP（数研出版） 大学入学共通テストリスニング分野別対策 LISTENING ACE 10 UPGRADED（美誠社） 2023 大学共通テスト 英語【リスニング】対策 Reach Listening 30（美誠社） Rapid-Reading 共通テスト英語 読解トレーニング（エミル出版） 2023 共通テスト対策 実力完成直前演習英語リーディング 40 minutes×8（ランズ） 2023 共通テスト対策 実力完成 直前演習英語リスニング 30 minutes×7（ランズ）

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	提出物 リフレクションシート パフォーマンステスト リスニングテスト 小テスト	34%
②外国語表現の能力	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	定期考査 パフォーマンステスト	18%
③外国語理解の能力	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	定期考査 リスニングテスト	15%
④言語や文化についての知識・理解	英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。	定期考査 課題考査 小テスト	33%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第1学期	4	14	Lesson 1 Let's Go to the Zoo!	<ul style="list-style-type: none"> 動物園の歴史やその役割について理解する。英文で書かれた動物園の地図を見て、情報をつかみ取ることができる。 現在完了形（経験、it is said that…、不定詞（名詞、副詞的用法）／関係副詞 where の復習を通じて、その定着を図る。Help + 人 + (to)～の用法を学び、定着を図る。 英文で書かれた動物園の地図をもとに、動物園のツアーパターンを作り、共有することができる。 	○		○	
	5	14	Lesson 2 The Food Culture	<ul style="list-style-type: none"> 世界の食にまつわる様々な文化を学び、その多様性について理解する。地域による主食や食べ方についての違いを学ぶ。 	○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第2学期	8	14	Lesson6 The Secret Annexe	<ul style="list-style-type: none"> ・有名な『アンネの日記』の抜粋を読み、アンネの心情を読み取る。また『アンネの日記』から戦時中の生活の様子や背景について学ぶ。 ・動名詞、to不定詞(副詞的用法)、受け身、if節を用いない仮定法、過去完了形(結果)の復習を通じて、その定着を図る。Can hardly～、would have + 過去分詞～、S + find + O + Cの用法について学び、その定着を図る。 ・アンネがもし第二次世界大戦を生き延びたとしたら、どんなことをしていたのかについて想像し、表現することができる。 	○		○	
	9			<ul style="list-style-type: none"> ・動名詞、to不定詞(副詞的用法)、受け身、if節を用いない仮定法、過去完了形(結果)の復習を通じて、その定着を図る。Can hardly～、would have + 過去分詞～、S + find + O + Cの用法について学び、その定着を図る。 ・アンネがもし第二次世界大戦を生き延びたとしたら、どんなことをしていたのかについて想像し、表現することができる。 		○	○	○
	10	14	Lesson7 New Image of Babies	<ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんにまつわる英文を読み、赤ちゃんの驚くべき能力について学ぶ。 ・SVOO (=that節)、SVOC(形式目的語 it)、接続詞 that、比較級を用いた表現 (more than)、受け身の復習を通じて、その定着を図る。Make it clear that S' +V'、It is ...that ～、enough + 名詞 + to～、so that S + can [may/ will]～の用法を学び、その定着を図る。 ・自分自身の幼少期について調べ、説明することができる。 	○		○	
	11	14	Lesson8 Ancient Rome	<ul style="list-style-type: none"> ・古代ローマの生活様式にまつわる英文を読み、古代ローマ人の暮らしについて理解する。 ・関係代名詞 which の非制限用法、SVOC (C=現在分詞)、現在完了形(経験)の復習を通じて、その定着を図る。How + S + V、It is thought～to...、～、where、few + 名詞、most + 名詞の用法について学び、その定着を図る。 ・古代人の暮らしと現代人の暮らしを比較し、どちらが良いかについて表現することができる。 	○		○	○
	12	14	Lesson9 Tuna	<ul style="list-style-type: none"> ・マグロにまつわる英文を読み、マグロの生態系について理解できる。また、マグロに影響を及ぼしている環境問題について学ぶ。 ・関係代名詞 which の非制限用法、not ～ as ... as、受け身、仮定法過去、現在完了形の受け身の復習を通じて、その定着を図る。関係代名詞 [which の継続用法で、前の英文全体を指している]、with + 名詞～、It is known that ～、have been -ing の用法について学び、その定着を図る。 ・海の生態系を守るためにできることについて考え、表現することができる。 	○		○	○
			* 共通テスト対策演習等					

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1	14	Lesson10 Water Crisis	<ul style="list-style-type: none"> ・世界に広がりつつある「水の危機 (Water Crisis)」について理解する。私たちが「水の危機」に対してできることについて学ぶ。 ・無生物主語構文、分詞構文 (現在分詞)、現在完了形の受け身の復習を通じて、その定着を図る。Have been forced to ~、as much [many] ~ as..、Reflecting on~, we can see...、It totally depends on ~to...の用法について学び、その定着を図る。 ・「水の危機」について自分たちができることについて考え、表現することができる。 	○		○	
	2		* 共通テスト対策演習等			○	○	○
	3				○	○		

4 その他

英語は人と人とのコミュニケーションを図る手段であるため、英語を通じて理解し、知識や見聞を広めると同時に、自分の考えや意見を表現し、発信することができるようにしていきましょう。そのためには、2年次と同様ですが、日頃から地道に努力をし、授業内では自分の考えを述べる習慣をつけ、積極的に異文化に触れるようにしましょう。大学入試を意識してリーディングやリスニングではインプットが中心になりがちですが、そこから学び得たものを積極的に発信する態度を養いましょう。1・2年次と同様にペアワークやグループワークに参加し、他者と協力して問題を解決していく姿勢を大切にしましょう。また、パフォーマンステストを行うので、日頃からペアワークやグループワーク等を通して、自分の意見を英語で発信する訓練をしていきましょう。高校英語の集大成として、質の高い英文に触れ、積極的に取り組みましょう。

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型(文型・理型)
英語	コミュニケーション英語Ⅲ	4	3	体育

1 学習の到達目標

学習の到達目標	英語を通して、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を伸ばす。また、英語を通して、多様なものの見方や考え方を理解し、自国のこと、諸外国のことを知り、広い視野から国際理解を深める。
使用教科書 副教材等	教科書：NEW ONE WORLD Communication III Revised Edition (教育出版) 副教材：NEW ONE WORLD Communication III Revised Edition『予習・復習ノート』(教育出版) 必携英単語 LEAP (数研出版) Listening Pilot Level2 (東京書籍) 思考力・発信力を鍛えるための Logical English Reading Level 1 (三省堂) 大学入学共通テストリスニング分野別対策 LISTENING ACE 1 O UPGRADED (美誠社) Rapid-Reading 共通テスト英語 読解トレーニング (エミル出版)

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	提出物 リフレクションシート パフォーマンステスト リスニングテスト 小テスト	34%
②外国語表現の能力	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	定期考査 パフォーマンステスト	18%
③外国語理解の能力	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	定期考査 リスニングテスト	13%
④言語や文化についての知識・理解	英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。	定期考査 課題考査 小テスト	33%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第1学期	4	14	Lesson 1 Let's Go to the Zoo!	<ul style="list-style-type: none"> 動物園の歴史やその役割について理解する。英文で書かれた動物園の地図を見て、情報をつかみ取ることができる。 現在完了形(経験、it is said that…、to不定詞(名詞、副詞的用法)／関係副詞 whereの復習を通じて、その定着を図る。Help + 人 + (to)～の用法を学び、定着を図る。 英文で書かれた動物園の地図をもとに、動物園のツアーパターンを作り、共有することができる。 	○		○	
	5	14	Lesson 2 The Food Culture	<ul style="list-style-type: none"> 世界の食にまつわる様々な文化を学び、その多様性について理解する。地域による主食や食べ方についての違いを学ぶ。 関係代名詞 which / 受け身／関係代名詞 which の非制限用法／現在完了形(継続)の復 	○	○	○	○

				<p>習を通じて、その定着を図る。Not necessarily、make + O + do、Which hand ~ with ?の用法について学び、定着を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分が気になる、世界の食文化についてひとつ取り上げ、紹介することができる。 	○	○		
6	14	Lesson 3 Around the World under the Sea		<ul style="list-style-type: none"> 海にまつわる英文を読み、海の生態系やマリンスポーツに関して学ぶ。 現在完了形（経験）、分詞構文（現在分詞）、SV0（O=how節）、知覚動詞 see、関係代名詞 which の非制限用法／to 不定詞／過去分詞の形容詞的用法の復習を通じて、その定着を図る。～the same way as…、because of～、関係代名詞[目的格の関係代名詞が省略されている]の用法を学び、定着を図る。 海の豊かさを守るために、自分たちに何ができるかについて考え、表現することができる。 	○	○	○	○
	7	14	Lesson4 The Most Beautiful Voice in the World	<ul style="list-style-type: none"> 世界でいちばん美しい声と称されるサラ・ブライトマンの生い立ちやその才能について学ぶ。サラ・ブライトマンの成功から、継続することや努力し続けることの大切さを学ぶ。 現在完了形（経験・継続）、関係代名詞 which の非制限用法、受け身、関係副詞 when、動名詞、to 不定詞（副詞的用法）の用法の復習を通じて、その定着を図る。One of the 最上級～、never fail to～、suggest (to+人) + that + S + should + 動詞の原形の用法について学び、その定着を図る。 サラブライトマンの話から学んだことをまとめ、自分の夢を叶えるために必要なことについて伝えることができる。 	○	○	○	○
		14	Lesson5 Endangered Languages	<ul style="list-style-type: none"> 言語にまつわる英文を読み、「言語の消滅」が何をもたらすのかについて理解する。また、言語が人間の文化の継承にどのように影響を与えるのかについて学ぶ。 受け身、it seems that…、can+受け身、過去分詞の形容詞的用法、複合関係詞 whenever の復習を通じて、その定着を図る。また、動名詞「前置詞の目的語」、比較級、no matter how + (形容詞/副詞)～の用法について学び、定着を図る。 自分が紹介してみたい言語を1つ取り上げ、日本語と比較しながら特徴やユニークな点について伝えることができる。 	○	○	○	○
			* 共通テスト対策演習等					

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点				
					①	②	③	④	
第2学期	8	14	Lesson6 The Secret Annexe	<ul style="list-style-type: none"> ・有名な『アンネの日記』の抜粋を読み、アンネの心情を読み取る。また『アンネの日記』から戦時中の生活の様子や背景について学ぶ。 ・動名詞、to不定詞(副詞的用法)、受け身、if節を用いない仮定法、過去完了形(結果)の復習を通じて、その定着を図る。Can hardly～、would have + 過去分詞～、S + find + O + Cの用法について学び、その定着を図る。 ・アンネがもし第二次世界大戦を生き延びたとしたら、どんなことをしていたのかについて想像し、表現することができる。 	○		○		
	9				○	○	○	○	
	10	14	Lesson7 New Image of Babies		<ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんにまつわる英文を読み、赤ちゃんの驚くべき能力について学ぶ。 ・SVOC (=that節)、SVOC(形式目的語 it)、接続詞 that、比較級を用いた表現 (more than)、受け身の復習を通じて、その定着を図る。Make it clear that S' +V'、It is ...that ～、enough + 名詞 + to～、so that S + can [may/ will]～の用法を学び、その定着を図る。 ・自分自身の幼少期について調べ、説明することができる。 	○		○	○
	11	14	Lesson8 Ancient Rome		<ul style="list-style-type: none"> ・古代ローマの生活様式にまつわる英文を読み、古代ローマ人の暮らしについて理解する。 ・関係代名詞 which の非制限用法、SVOC (C=現在分詞)、現在完了形(経験)の復習を通じて、その定着を図る。How + S + V、It is thought～to...、～、where、few + 名詞、most + 名詞の用法について学び、その定着を図る。 ・古代人の暮らしと現代人の暮らしを比較し、どちらが良いかについて表現することができる。 	○		○	○
	12	14	Lesson9 Tuna		<ul style="list-style-type: none"> ・マグロにまつわる英文を読み、マグロの生態系について理解できる。また、マグロに影響を及ぼしている環境問題について学ぶ。 ・関係代名詞 which の非制限用法、not ～ as ... as、受け身、仮定法過去、現在完了形の受け身の復習を通じて、その定着を図る。関係代名詞 [whichの継続用法で、前の英文全体を指している]、with + 名詞～、It is known that ～、have been -ing の用法について学び、その定着を図る。 ・海の生態系を守るためにできることについて考え、表現することができる。 	○		○	○
			* 共通テスト対策演習等						

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1	14	Lesson10 Water Crisis	<ul style="list-style-type: none"> ・世界に広がりつつある「水の危機 (Water Crisis)」について理解する。私たちが「水の危機」に対してできることについて学ぶ。 ・無生物主語構文、分詞構文 (現在分詞)、現在完了形の受け身の復習を通じて、その定着を図る。Have been forced to ~、as much [many] ~ as..、Reflecting on~, we can see...、It totally depends on ~to...の用法について学び、その定着を図る。 ・「水の危機」について自分たちができることについて考え、表現することができる。 	○		○	
	2		* 共通テスト対策演習等			○	○	○
	3				○	○		

4 その他

英語は人と人とのコミュニケーションを図る手段であるため、英語を通じて理解し、知識や見聞を広めると同時に、自分の考えや意見を表現し、発信することができるようにしていきましょう。そのためには、2年次と同様ですが、日頃から地道に努力をし、授業内では自分の考えを述べる習慣をつけ、積極的に異文化に触れるようにしましょう。大学入試を意識してリーディングやリスニングではインプットが中心になりがちですが、そこから学び得たものを積極的に発信する態度を養いましょう。1・2年次と同様にペアワークやグループワークに参加し、他者と協力して問題を解決していく姿勢を大切にしましょう。また、パフォーマンステストを行うので、日頃からペアワークやグループワーク等を通して、自分の意見を英語で発信する訓練をしていきましょう。高校英語の集大成として、質の高い英文に触れ、積極的に取り組みましょう。

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型(文型・理型)
英語	英語表現Ⅱ	2	3	普通

1 学習の到達目標

学習の到達目標	学んだ文法を適切に使用して、日常的话题や社会的な問題に対して聞いたり読んだりした内容について、自分自身の意見や主張を適切な文構成で書いたり、話したりする能力を養う。
使用教科書 副教材等	教科書: EMPOWER ENGLISH EXPRESSION II 副教材: EMPOWER ENGLISH EXPRESSION II ESSENTIAL COURSE Workbook Next Stage 英文法・語法問題(桐原書店) Next Stage 英文法・語法問題 ベスト・トレーナー(桐原書店)

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	学んだ文法の知識を活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりするなど、外国語を用いて主体的にコミュニケーションを図ろうとしている	パフォーマンステスト 提出物 リフレクションシート	33%
②外国語表現の能力	場面、目的、状況等に応じて、日常的话题から社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている	定期考査 小テスト パフォーマンステスト	34%
③外国語理解の能力			
④言語や文化についての知識・理解	言語構造を理解したうえで実際のコミュニケーションにおいて場面・目的・状況等に応じて適切に活用できる知識を身に付けている	定期考査 小テスト パフォーマンステスト	33%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点				
					①	②	③	④	
第1学期	4	2	第1章 時制	基本時制(現在・過去・未来)の用法について学習し、状況に応じて適切に使い分けられる。	○			○	
		2	第2章 態	受動態・完了形・群動詞について動詞と文構造について学習し、状況に応じて適切に使用できる。	○			○	
	5	2	Part2 Lesson2 楽器の種類	「分類」を表すパラグラフの文構成について学習し、一貫した内容のパラグラフを書ける。	○	○		○	
		2	パフォーマンス課題						
	6	2	第3章 助動詞	助動詞の用法・助動詞を用いた慣用表現についての学習し、自分の考えや気持ちを伝えることができる。	○			○	
		2	第4章 仮定法	仮定法の様々な表現について学習し、想像の話について話したり・書いたりできる。	○			○	
	7	2	Part2 Lesson4 オリンピック選手はどのように決まる?	「原因(理由)・結果」を表すパラグラフの文構成について学習し、一貫した内容のパラグラフを書く。また書いたものをもとに聞き手に対して発信する力を養う。	○	○		○	
		2	パフォーマンステスト						
			2	第5章 不定詞	不定詞の用法や不定詞を用いた慣用表現、動名詞の用法や動名詞を用いた慣用表現について学習し、適切に使用できる。	○			○
			2	第6章 動名詞					

		2	第7章 分詞	名詞句・名詞節の作り方・使い方を理解し、適切に使用できる。	○			○
		2	第8章 比較	比較の表現について学習し、適切に使用できる。	○			○
		2	第9章 代名詞	代名詞の用法について学習し、適切に使用できる。	○			○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第2学期	8	2	第10章 関係詞	接続詞・関係詞の使い方を理解し、適切に使用できる。	○			○
		2	第11章 接続詞					
	9	2	第12章 前置詞	前置詞の使い方を理解し、適切に使用できる。	○			○
		2	第13章 主語と動詞の一致	主語に合わせて適切な動詞を選択できる。	○			○
		2	第14章 疑問文と語順 第15章 否定・省略・強調	疑問文や、否定など様々な文についての知識を深める。	○			○
	10	3	Part2 Lesson5 多言語学習の必要性	「意見・主張」を述べるパラグラフの文構成について学習し、一貫した内容のパラグラフを書く。また書いたものをもとに聞き手に対して発信する力を養う。	○	○		○
		3	パフォーマンステスト					
	11	2	第16章 時制の一致と話法	時制の一致や様々な話法についての理解を深める。	○			○
			第17章 動詞の語法① 動詞の語法②	動詞の語法について学習し、語法に関する知識を深める。				
		2	How to write a Summary	要約の方法について学習する。	○	○		○
		2	パフォーマンス課題	学習したことをもとに、適切な文構成で要約が書ける。				
	12	4	第18章 形容詞・副詞の語法 第19章 名詞の語法	形容詞・副詞・名詞の語法について学習し、語法に関する知識を深める。	○			○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1	6	大学入試に向けた演習	学習してきたことをもとに演習問題に取り組み、共通テストや大学入試に必要な実践力を身につける。				○
	2	6	第20章 頻出基本イディオム～第30章 重要多義語					
	3							

4 その他

各レッスンの目標を意識し、コミュニケーションをとるのに必要な文法事項を習得しながら、相手に伝えたい内容を話したり、書いたりすることができるようになりましょう。それぞれの場面・目的・状況に合わせて自分の意見や考えを適切に伝えられるように、文構成を学び、相手に伝わりやすい文の書き方や伝え方を学習しましょう。また、GTEC や英検などの外部試験にも積極的にチャレンジしてみましょう。

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型(文型・理型)
英語	英語表現Ⅱ	2	3	体育

1 学習の到達目標

学習の到達目標	学んだ文法を適切に使用して、日常的话题や社会的な問題に対して聞いたり読んだりした内容について、自分自身の意見や主張を適切な文構成で書いたり、話したりする能力を養う。
使用教科書 副教材等	教科書: EMPOWER ENGLISH EXPRESSION II 副教材: EMPOWER ENGLISH EXPRESSION II ESSENTIAL COURSE Workbook Next Stage 英文法・語法問題(桐原書店) Next Stage 英文法・語法問題 ベスト・トレーナー(桐原書店)

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	学んだ文法の知識を活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりするなど、外国語を用いて主体的にコミュニケーションを図ろうとしている	パフォーマンステスト 提出物 リフレクションシート	33%
②外国語表現の能力	場面、目的、状況等に応じて、日常的话题から社会問題まで幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている	定期考査 小テスト パフォーマンステスト	34%
③外国語理解の能力			
④言語や文化についての知識・理解	言語構造を理解したうえで実際のコミュニケーションにおいて場面・目的・状況等に応じて適切に活用できる知識を身に付けている	定期考査 小テスト パフォーマンステスト	33%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点				
					①	②	③	④	
第1学期	4	2	第10章 時制	基本時制(現在・過去・未来)の用法について学習し、状況に応じて適切に使い分けられる。	○			○	
		2	第11章 態	受動態・完了形・群動詞について動詞と文構造について学習し、状況に応じて適切に使用できる。	○			○	
	5	2	Part2 Lesson2 楽器の種類	「分類」を表すパラグラフの文構成について学習し、一貫した内容のパラグラフを書ける。	○	○		○	
		2	パフォーマンス課題						
	6	2	第12章 助動詞	助動詞の用法・助動詞を用いた慣用表現についての学習し、自分の考えや気持ちを伝えることができる。	○			○	
		2	第13章 仮定法	仮定法の様々な表現について学習し、想像の話について話したり・書いたりできる。	○			○	
	7	2	Part2 Lesson4 オリンピック選手はどのように決まる?	「原因(理由)・結果」を表すパラグラフの文構成について学習し、一貫した内容のパラグラフを書く。また書いたものをもとに聞き手に対して発信する力を養う。	○	○		○	
		2	パフォーマンステスト						
			2	第14章 不定詞	不定詞の用法や不定詞を用いた慣用表現、動名詞の用法や動名詞を用いた慣用表現について学習し、適切に使用できる。	○			○
			2	第15章 動名詞					

		2	第16章 分詞	名詞句・名詞節の作り方・使い方を理解し、適切に使用できる。	○			○
		2	第17章 比較	比較の表現について学習し、適切に使用できる。	○			○
		2	第18章 代名詞	代名詞の用法について学習し、適切に使用できる。	○			○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第2学期	8	2	第10章 関係詞	接続詞・関係詞の使い方を理解し、適切に使用できる。	○			○
		2	第11章 接続詞					
	9	2	第12章 前置詞	前置詞の使い方を理解し、適切に使用できる。	○			○
		2	第13章 主語と動詞の一致	主語に合わせて適切な動詞を選択できる。	○			○
		2	第14章 疑問文と語順	疑問文や、否定など様々な文についての知識を深める。	○			○
			第15章 否定・省略・強調					
	10	3	Part2 Lesson5 多言語学習の必要性	「意見・主張」を述べるパラグラフの文構成について学習し、一貫した内容のパラグラフを書く。また書いたものをもとに聞き手に対して発信する力を養う。	○	○		○
		3	パフォーマンステスト					
		2	第16章 時制の一致と話法	時制の一致や様々な話法についての理解を深める。	○			○
			第18章 動詞の語法① 動詞の語法②	動詞の語法について学習し、語法に関する知識を深める。				
	11	4	How to write a Summary	要約の方法について学習する。	○	○		○
		2	パフォーマンス課題	学習したことをもとに、適切な文構成で要約が書ける。				
12	4	第18章 形容詞・副詞の語法	形容詞・副詞・名詞の語法について学習し、語法に関する知識を深める。	○			○	
		第20章 名詞の語法						

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1	6	大学入試に向けた演習	学習してきたことをもとに演習問題に取り組み、共通テストや大学入試に必要な実践力を身につける。				○
	2	6	第20章頻出基本イディオム～第30章重要多義語					
	3							

4 その他

各レッスンの目標を意識し、コミュニケーションをとるのに必要な文法事項を習得しながら、相手に伝えたい内容を話したり、書いたりすることができるようになりましょう。それぞれの場面・目的・状況に合わせて自分の意見や考えを適切に伝えられるように、文構成を学び、相手に伝わりやすい文の書き方や伝え方を学習しましょう。また、GTEC や英検などの外部試験にも積極的にチャレンジしてみましょう。

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型(文型・理型)
英語	英語一般	3	3	文型

1 学習の到達目標

学習の到達目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えを的確に理解し、自らの考えを深めたり発信する能力を養う。
使用教科書 副教材等	教科書：NEW ONE WORLD Communication II (教育出版) 副教材：TREASURE HUNT New Edition 3 (いいずな書店) Logical English Reading (三省堂)

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
①コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	提出物、リフレクションシート、パフォーマンステスト、小テスト	33%
②外国語表現の能力	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	パフォーマンステスト	10%
③外国語理解の能力	英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	定期考査	23%
④言語や文化についての知識・理解	英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解している。	定期考査	34%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第1学期	4	7	1 時制 「記憶力」	<ul style="list-style-type: none"> ・「記憶と写真を取ること」の実験に関する英文を読み、理解することができる。 ・時制について復習し、定着を図ることができる。 ・言い換え・省略を意識しながら読むことができる。 	○		○	
	5	7	2 完了形 「新聞配達」	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞配達員に関する話題を読み、理解することができる。 ・完了形について復習し、定着を図ることができる。 ・キーワードに着目しながら、読むことができる。 	○		○	○
	6	7	3 助動詞 「フェアトレード」	<ul style="list-style-type: none"> ・フェアトレードの果たす役割について、英文を読みながら理解することができる。 ・助動詞について復習し、定着を図ることができる。 ・グラフの見方を意識しながら、読むことができる。 	○		○	○
	7	7	4 受動態 「自転車」	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車の歴史について、英文を通じて理解することができる。 	○		○	

	7	7	5 不定詞 「夫婦愛」	<ul style="list-style-type: none"> ・受動態について復習し、理解することができる。 ・情報の整理と時間軸を意識しながら英文を読むことができる。 ・とある夫婦に起きた出来事についての英文を読み、理解することができる。 ・不定詞について復習し、定着を図ることができる。 ・登場人物の心理について理解しながら英文を読むことができる。 	○	○	○	○
			*Logical English Reading Lesson 1～ Lesson 4	* 日常的・社会的な話題についての英文を読んだり聞いたりし、自身の意見を発信することができる。	○		○	
			*パフォーマンステスト	* 「読むこと」「聞くこと」「話すこと」「書くこと」を活用して、英語で自分自身について発信することができる。	○	○		

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第2学期	8	7	6 不定詞・動名詞 「住居」	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境に配慮した住居の工夫についての英文を読み、理解することができる。 ・不定詞や動名詞について復習し、定着を図ることができる。 ・話の流れを理解しながら、英文を読むことができる。 	○		○	
	9	7	7 分詞① 「異文化理解」	<ul style="list-style-type: none"> ・カルチャーショックに関する英文を読み、理解することができる。 ・分詞を用いた慣用表現を理解し、定着を図ることができる。 ・段落ごとの要旨を理解し、英文を読むことができる。 	○	○	○	○
			8 分詞② 「植物」	<ul style="list-style-type: none"> ・ハエトリグサの特徴についての英文を読み、理解することができる。 ・分詞構文について復習し、定着を図ることができる。 ・説明文の構造を理解しながら、英文を読むことができる。 	○		○	○
	10	7	9 関係詞① 「採用試験」	<ul style="list-style-type: none"> ・試験を話題にした英文を読み、理解することができる。 ・関係代名詞について復習し、定着を図ることができる。 ・言い換えに着目しながら英文を読むことが 	○		○	○
					○	○	○	○

			10 関係詞② 「宇宙」	<p>できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇宙ゴミの現状に関する英文を読み、理解することができる。 ・関係代名詞 what と関係副詞の用法について復習し、定着を図ることができる。 ・情報の整理の仕方について意識しながら、英文を読むことができる。 	○		○		
11	7	11 比較① 「人物」	<ul style="list-style-type: none"> ・パキスタンで教員を務めた人の手紙を読み、理解することができる。 ・比較表現（原級・比較級）について復習し、定着を図ることができる。 ・ディスコースマーカーを理解し、英文を読むことができる。 	○		○		○	○
		12 比較② 「親子愛」	<ul style="list-style-type: none"> ・親子愛に関する英文を読み、理解することができる。 比較表現（最上級）について復習し、定着を図ることができる。 ・段落のつながりを理解しながら、英文を読むことができる。 	○		○		○	○
12	7	13. 仮定法① 「自然・天気」	<ul style="list-style-type: none"> ・観天望気に関する英文を読み、理解することができる。 ・仮定法過去・仮定法過去完了について復習し、定着を図ることができる。 ・段落のつながりを意識しながら、英文を読むことができる。 	○		○		○	○
		*Logical English Reading Lesson 5～ Lesson 8	*日常的・社会的な話題についての英文を読んだり聞いたりし、自身の意見を発信することができる。	○		○			
		*パフォーマンステスト	*「読むこと」「聞くこと」「話すこと」「書くこと」を活用して、英語で自分自身について発信することができる。	○		○			

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1	7	14 仮定法② 「論文」	<ul style="list-style-type: none"> ・論文の書き方に関する英文を読み、理解することができる。 ・仮定法の慣用表現について学び、定着を図ることができる。 ・情報の整理の仕方を学び、英文を読むことができる。 	○		○	
	2	7	15 英文の読み方 「観光」	<ul style="list-style-type: none"> ・日本におけるメディカルツーリズムについての英文を読み、理解することができる。 ・後置修飾について理解し、定着を図ることができる。 	○		○	○
	3			<ul style="list-style-type: none"> ・トピックセンテンスを理解し、内容を把握することができる。 	○	○	○	○

4 その他

英語はコミュニケーションを取るための1つのツールです。英語で表現する力を養うには、「読む・書く・聞く・話す」の4技能をバランスよく身につけることが大切です。「英語を活用する」と聞くと、すぐに「話す」「書く」というイメージがありますが、読む・聞くという行為の中にも「英語を活用する」という要素はたくさんあります。英文を通じて知見を広げ、それらを積極的に発信していきましょう。それらを実現するためにも、授業に積極的に参加し、課題やテストにもしっかりと取り組みましょう。また、英語を使う場面では、間違いを恐れずに、積極的に言語活動に参加してください。受験生としての自覚ある取り組みを期待しています。

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	家庭基礎	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		2	1	普通

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり身につける。</p> <p>(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識を理解するとともに、それらに係る技能を身につける。</p> <p>(2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身につける。</p> <p>(3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身につける。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 家庭基礎 自立・共生・創造(東京書籍株式会社)</p> <p>副教材 最新 生活ハンドブック資料&成分表(株式会社第一学習社)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識と、それらに係る技能を身につけている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身につけている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身につけている。
評価点	300	300	300

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯を見通す ・人生をつくる ・子どもと共に育つ ・超高齢社会を共に生きる ・共に生き、共に支える ・衣生活をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査(70) ・実技試験(30) 	<ul style="list-style-type: none"> ・パフォーマンス課題(70) ・定期考査(30) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオ(60) ・ワークシート(30) ・授業態度(10)
	100	100	100	
2	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活をつくる ・食生活をつくる ・住生活をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査(70) ・実技試験(30) 	<ul style="list-style-type: none"> ・パフォーマンス課題(70) ・定期考査(30) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオ(60) ・ワークシート(30) ・授業態度(10)
	100	100	100	

3	<ul style="list-style-type: none"> ・経済生活を営む ・持続可能な生活を営む ・これからの生活を創造する 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査(70) ・実技試験(30) 	<ul style="list-style-type: none"> ・パフォーマンス課題(70) ・定期考査(30) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオ(60) ・ワークシート(30) ・授業態度(10)
		100	100	100

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	<ul style="list-style-type: none"> △家庭科の学び方 △ホームプロジェクト 生活の中から課題を見つけ、テーマを決める～計画を立てる～実践 ・生涯を見通す ・人生をつくる 	6
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと共に育つ (知)実技試験 絵本の読み聞かせ (思)パフォーマンス課題 児童文化財製作 	4
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・超高齢社会を共に生きる ・共に生き、共に支える (知)実技試験 高齢者介助, 障害者とのコミュニケーションの手法 (思)パフォーマンス課題 ハザードマップ作成 	8
	1 学 期 期 末 考 査		
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活をつくる (思)パフォーマンス課題 手縫い作品製作 △ホームプロジェクト 計画を立てる～実践～反省・評価 	6
2	8	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活をつくる △ホームプロジェクト 実践～反省・評価～テーマを発展, 中間発表会 	2
	9	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活をつくる (知)実技試験 基本の手縫い技法 ・食生活をつくる △ホームプロジェクト 生活の中から課題を見つけ、テーマを決める～計画を立てる～実践 	8
	10	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活をつくる (思)パフォーマンス課題 1日分の献立作成 	8
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活をつくる (知)実技試験 基本の切り方, 計量 ・住生活をつくる 	8
2 学 期 期 末 考 査			

	12	・住生活をつくる (思)パフォーマンス課題 1人暮らしの計画 △ホームプロジェクト 計画を立てる～実践～反省・評価	4
3	1	・経済生活を営む (思)パフォーマンス課題 ダイヤモンドランキング	6
	2	・持続可能な生活を営む (知)実技試験 ラベルによる分別 ・これからの生活を創造する △ホームプロジェクト 実践～反省・評価～テーマを発展, 最終発表会	8
	3	△マナーを身につける	2

学 年 末 考 査

5 その他

- (1) 定期考査として1学期期末, 2学期期末, 学年末の年3回, 知識・技能及び思考・判断・表現の力を問う筆記試験を行います。
- (2) 各学期において, パフォーマンス課題及び実技試験を授業内で行います。
- (3) 年間を通してホームプロジェクトを実施します。家庭や地域で活動する場合や, 長期休暇中に活動する場合があります。
- (4) 授業は教室, 被服室あるいは調理室で行います。Google classroom で連絡を行うこともありますので, 授業前に必ず確認をしてください。
- (5) 授業時には教科書・副教材の他, 筆記用具, タブレット, ノート, ファイルの用意をしてください。学習内容によってはエプロン, 三角巾, 手拭きタオルが必要になることもあります。その際は別途指示をします。
- (6) 授業時に扱う教材・文房具は学校の所有物ですので, 持ち帰らず必ず返却してください。
- (7) 被服室は飲食禁止の特別教室です。水分補給は被服室の外で行ってください。
- (8) 感染症及び食中毒予防の為, やむを得ず学習内容の変更を判断する場合がありますので御了承ください。

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	家庭基礎	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		2	2	体育

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり身につける。</p> <p>(4) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識を理解するとともに、それらに係る技能を身につける。</p> <p>(5) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身につける。</p> <p>(6) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身につける。</p>
使用教科書 副教材等	<p>教科書 家庭基礎 自立・共生・創造(東京書籍株式会社)</p> <p>副教材 最新 生活ハンドブック資料&成分表(株式会社第一学習社)</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識と、それらに係る技能を身につけている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身につけている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身につけている。
評価点	300	300	300

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯を見通す ・人生をつくる ・子どもと共に育つ ・超高齢社会を共に生きる ・共に生き、共に支える ・衣生活をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査(70) ・実技試験(30) 	<ul style="list-style-type: none"> ・パフォーマンス課題(70) ・定期考査(30) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオ(60) ・ワークシート(30) ・授業態度(10)
	100	100	100	
2	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活をつくる ・食生活をつくる ・住生活をつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査(70) ・実技試験(30) 	<ul style="list-style-type: none"> ・パフォーマンス課題(70) ・定期考査(30) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオ(60) ・ワークシート(30) ・授業態度(10)
	100	100	100	

3	<ul style="list-style-type: none"> ・経済生活を営む ・持続可能な生活を営む ・これからの生活を創造する 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査(70) ・実技試験(30) 	<ul style="list-style-type: none"> ・パフォーマンス課題(70) ・定期考査(30) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポートフォリオ(60) ・ワークシート(30) ・授業態度(10)
		100	100	100

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	<ul style="list-style-type: none"> △家庭科の学び方 △ホームプロジェクト 生活の中から課題を見つけ、テーマを決める～計画を立てる～実践 ・生涯を見通す ・人生をつくる 	6
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと共に育つ (知)実技試験 絵本の読み聞かせ (思)パフォーマンス課題 児童文化財製作 	4
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・超高齢社会を共に生きる ・共に生き、共に支える (知)実技試験 高齢者介助, 障害者とのコミュニケーションの手法 (思)パフォーマンス課題 ハザードマップ作成 	8
	1 学 期 期 末 考 査		
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活をつくる (思)パフォーマンス課題 手縫い作品製作 △ホームプロジェクト 計画を立てる～実践～反省・評価 	6
2	8	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活をつくる △ホームプロジェクト 実践～反省・評価～テーマを発展, 中間発表会 	2
	9	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活をつくる (知)実技試験 基本の手縫い技法 ・食生活をつくる △ホームプロジェクト 生活の中から課題を見つけ、テーマを決める～計画を立てる～実践 	8
	10	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活をつくる (思)パフォーマンス課題 1日分の献立作成 	8
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活をつくる (知)実技試験 基本の切り方, 計量 ・住生活をつくる 	8
2 学 期 期 末 考 査			

	12	・住生活をつくる (思)パフォーマンス課題 1人暮らしの計画 △ホームプロジェクト 計画を立てる～実践～反省・評価	4
3	1	・経済生活を営む (思)パフォーマンス課題 ダイヤモンドランキング	6
	2	・持続可能な生活を営む (知)実技試験 ラベルによる分別 ・これからの生活を創造する △ホームプロジェクト 実践～反省・評価～テーマを発展, 最終発表会	8
	3	△マナーを身につける	2

学 年 末 考 査

5 その他

- (1) 定期考査として1学期期末, 2学期期末, 学年末の年3回, 知識・技能及び思考・判断・表現の力を問う筆記試験を行います。
- (2) 各学期において, パフォーマンス課題及び実技試験を授業内で行います。
- (3) 年間を通してホームプロジェクトを実施します。家庭や地域で活動する場合や, 長期休暇中に活動する場合があります。
- (4) 授業は教室, 被服室あるいは調理室で行います。Google classroom で連絡を行うこともありますので, 授業前に必ず確認をしてください。
- (5) 授業時には教科書・副教材の他, 筆記用具, タブレット, ノート, ファイルの用意をしてください。学習内容によってはエプロン, 三角巾, 手拭きタオルが必要になることもあります。その際は別途指示をします。
- (6) 授業時に扱う教材・文房具は学校の所有物ですので, 持ち帰らず必ず返却してください。
- (7) 被服室は飲食禁止の特別教室です。水分補給は被服室の外で行ってください。
- (8) 感染症及び食中毒予防の為, やむを得ず学習内容の変更を判断する場合がありますので御了承ください。

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型（文型・理型）
家庭	フードデザイン	3	3	文型

1 学習の到達目標

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養バランスの良い食事計画が作成でき、それらを調理するための知識と技術を養う。 ・年中行事における食事を理解し、日本の伝統食についての知識と技術を習得し、後生へ伝承できるようになる。 ・日本の食生活の現状と課題を把握し、食事作りの喜びや集団での食事の楽しみを知る。 ・輸入食品によって支えられている食糧事情を理解し、食物を大切にすることを養う。
使用教科書 副教材等	教科書 フードデザイン cooking&arrangement（教育図書株式会社） 副教材 フードデザイン cooking&arrangement ワークノート（教育図書株式会社） 最新生活ハンドブック 2021 資料&成分表（株式会社第一学習社）

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
① 関心・意欲 ・態度	食の役割に関心を持ち、作ることから食べることまで総合的に捉え計画する意欲と実践的な態度を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・調理実習カード ・授業態度 ・パフォーマンス課題 	25%
② 思考・判断 ・表現	自分自身の食生活や食環境が大きく変化している現状に課題を見つけて思考を深め、考えをまとめ判断し表現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・パフォーマンス課題 ・定期考査 	25%
③ 技能	調理、テーブルコーディネート等に関する技術を習得している。	<ul style="list-style-type: none"> ・実技試験 ・授業態度 	25%
④ 知識・理解	食事の意義と役割を理解するとともに、豊かな食事を構成する要素としての栄養、食品、料理様式と献立、調理、テーブルコーディネート等に関する知識を習得している。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート ・ワークノート 	25%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第1学期	4	9	<ul style="list-style-type: none"> ・健康と食生活 ・日常食（日本料理） 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の意義と役割を理解し、現代の食生活の課題について関心を深める。 ・調理上の基礎的事項と技術を習得する。 		○		○
	5	9	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養素・食品の特徴 ・日常食（西洋料理） 	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の特性について研究し、知識を深める。 ・調理上の基礎的事項と技術を習得する。 	○		○	○
	6	12	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養素・食品の特徴 ・日常食（中国料理） 	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の特性について研究発表し、知識を深める。 ・調理上の基礎的事項と技術を習得する。 	○		○	○
	7	12	<ul style="list-style-type: none"> ・調理と献立 ・献立作成① 	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養バランスを考えた献立作成を行えるようになる。 ・栄養バランスを考えた1食分の献立を作成し、調理及び盛りつけができるようになる。 	○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第2学期	8	3	・調理と献立 ・テーブルコーディネート①	・栄養バランスを考えた献立作成を行えるようになる。 ・テーマに沿ったテーブルコーディネートを提案発表し、技術を習得する。	○	○	○	○
	9	12	・豊かな食生活をつくる ・外部講師による講習会(中国料理)	・持続可能な食生活のために、健康で安全な食生活を支える上での課題を見つけることができる。 ・より専門的な知識や技術を習得する。	○			○
	10	12	・豊かな食生活をつくる ・外部講師による講習会(パン)	・持続可能な食生活のために、健康で安全な食生活を支える上での課題を見つけることができる。 ・より専門的な知識が技術を習得する。	○			○
	11	12	・献立作成② ・行事食(西洋料理)	・栄養バランスを考えた1日分の献立を作成し、調理及び盛りつけができるようになる。 ・調理上の基礎的事項と技術を活用することができる。	○	○	○	
	12	9	・テーブルコーディネート② ・行事食(日本料理)	・テーマに沿ったテーブルコーディネートを提案発表し、技術を定着させる。 ・調理上の基礎的事項と技術を活用することができる。	○	○	○	○

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第3学期	1	9	・日常食(日本料理) ・日常食(西洋料理)	・調理上の基礎的事項と技術を活用することができる。 ・調理上の基礎的事項と技術を活用することができる。	○		○	
	2	6	・テーブルコーディネート③ ・供応食(西洋料理)	・テーマに沿ったテーブルコーディネートを提案発表し、技術を定着させる。 ・調理上の基礎的事項と技術を活用することができる。	○	○	○	○
	3	0						

4 その他

- (1) 定期考査は1学期期末考査、2学期期末考査の年2回実施します。思考・判断・表現及び知識・理解の力を問う筆記試験となります。
- (2) 2学期には外部講師による調理技能講習会を行います。
- (3) 適宜、技能を問う実技試験を実施します。
- (4) 授業時には教科書・副教材の他、筆記用具、タブレット、ファイル、エプロン、三角巾、手拭きタオルの準備をしてください。
- (5) 実習費の徴収を行います。調理実習、テーブルコーディネート実習、外部講師による講習会にかかる費用等、授業に必要な経費は全て徴収した実習費より支払います。
- (6) 感染症及び食中毒予防の為、やむを得ず調理実習の延期や中止を判断する場合がありますので御承ください。

令和5年度 広島市立沼田高等学校 シラバス

教科名	科目名	単位数	履修学年	区分・型(文型・理型)
家庭	保育・福祉	3	3	文型

1 学習の到達目標

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達と保育や高齢者の生活を中心に、人の一生と社会のつながりを理解する。 ・共生・共育の下での福祉の現状を知り、高校生として子どもや高齢者をどのように支えていくかを考える態度を身につける。
使用教科書 副教材等	教科書 子どもの発達と保育 育つ・育てる・育ち合う(教育図書株式会社) 副教材 子どもの発達と保育ワークノート(教育図書株式会社) 最新生活ハンドブック 2021 資料&成分表(株式会社第一学習社)

2 評価の観点等

	評価の観点及び内容	評価方法	配分
① 関心・意欲 ・態度	子どもの発達と保育や高齢者の福祉に関心を持ち、それらを意欲的に学ぼうとする態度を身につけている。	<ul style="list-style-type: none"> ・パフォーマンス課題 ・実習レポート ・授業態度 ・ワークシート 	25%
② 思考・判断 ・表現	子どもの発達と保育や高齢者の福祉に関わる幅広い知識を身につけ、実習や考察を通して思考を深め、考えをまとめ判断し表現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・パフォーマンス課題 ・実習レポート 	25%
③ 技能	子どもの発達と保育や高齢者の福祉に関わる実習や観察を通じて保育や介助に必要な技術を習得している。	<ul style="list-style-type: none"> ・実技試験 ・実習レポート 	25%
④ 知識・理解	子どもの発達と保育や高齢者の福祉に関する幅広い知識を習得し、基礎的・基本的事項を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート ・ワークノート 	25%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第1学期	4	9	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達と特性／名札製作 ・社会福祉の理念と意義／製作活動(こどもの日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達や特性を理解し、子どもの発達段階に見合った名札を製作し、発表する。 ・社会福祉の理念と意義を理解する。 	○	○		○
	5	9	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの保育／遊びの考案・製作 ・生活を支える社会福祉・社会保障制度／製作活動(母の日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階別の異なる保育方法を理解し、子どもの発達段階に見合った遊びを考案し製作する。 ・日本の社会福祉及び社会保障制度の基礎的な知識を身につける。 	○	○		○
	6	12	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの保育／保育実習 ・生活を支える社会福祉・社会保障制度／製作活動(父の日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階別に異なる保育方法を理解し、子どもの発達段階に見合った保育を実践し振り返る。 ・子ども家庭福祉、障害者福祉、高齢者福祉に関する基礎的な知識を身につける。 	○	○	○	○

第1学期	7	12	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達過程／乳児向け玩具製作 ・外部講師による講演会／製作活動（七夕） 	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児の発達過程を理解し、乳児の発達段階に見合った玩具を考案し製作する。 ・介護現場の現状を知り、介護分野や介護職への興味・関心及び理解を深める。 	○	○	○	○
------	---	----	--	--	---	---	---	---

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					①	②	③	④
第2学期	8	3	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達過程／幼児向け玩具製作 ・人間関係とコミュニケーション／製作活動(防災の日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児の発達過程を理解し、幼児の発達段階に見合った玩具を考案し製作する。 ・コミュニケーションの手法を学び実践し、コミュニケーションがとれるようになる。 	○	○	○	○
	9	12	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの生活／子どもの衣服製作実習 ・介助実習／製作活動(敬老の日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの衣生活を学習し、子どもの発達段階に見合った衣服を製作する。 ・介助の手法を実践し、技術を定着させる。 	○	○	○	○
	10	12	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの生活／子どもの食事調理実習 ・地域福祉の進展と多様な社会的支援制度／製作活動（ハロウィン） 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの食生活を学習し、子どもの発達段階に見合った食事を調理する。 ・地域福祉と社会的支援制度を理解する。 	○	○	○	○
	11	12	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの福祉と子育て支援／外部講師による講演会 ・地域交流事業プレゼント製作（高齢者向け） 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの福祉と子育て支援の現状を知り、高校生として自分自身にできることを考え発表し、理解を深める。 ・高齢者の特性に適したプレゼントを製作し交流を深める。 	○	○	○	○
	12	9	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流事業プレゼント製作（幼児向け） ・製作活動（クリスマス、正月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの特性に適したプレゼントを製作し交流を深める。 ・年中行事に関する製作活動を行う中で、年中行事の意義を理解し後生に伝承できるようになる。 	○	○	○	○

第3学期	1	9	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流事業プレゼント製作（幼児向け） ・製作活動（成人の日、節分） 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの特性に適したプレゼントを製作し交流を深める。 ・年中行事に関する製作活動を行う中で、年中行事の意義を理解し後生に伝承できるようになる。 	○	○	○	○
	2	6	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流事業プレゼント製作（幼児向け） ・製作活動（雑まつり） 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの特性に適したプレゼントを製作し交流を深める。 ・年中行事に関する製作活動を行う中で、年中行事の意義を理解し後生に伝承できるようになる。 	○	○	○	○
	3	0						

4 その他

- (1) 定期考査は1学期期末考査、2学期期末考査の年2回実施します。思考・判断・表現及び知識・理解の力を問う筆記試験となります。
- (2) 1学期には保育所、幼稚園あるいは認定こども園での保育実習及び福祉に関する外部講師による講演会、2学期には保育に関する外部講師による講演会及び社会福祉関連団体との交流を予定しています。
- (3) 適宜、技能を問う実技試験を実施します。
- (4) 授業時には教科書・副教材の他、筆記用具、タブレット、ファイルを準備してください。なお、実習時にはこれらの他にも必要な物がありますので別途指示します。
- (5) 実習費の徴収を行います。製作活動、保育実習及び介助実習、地域交流事業、外部講師による講演会にかかる費用等、授業に必要な経費は全て徴収した実習費より支払います。
- (6) 感染症予防の為、やむを得ず実習及び講演会の延期や中止を判断する場合がありますので御了承ください。

令和5年度 沼田高等学校 年間指導計画表(シラバス)

科目名	情報 I	単位数	学年等	区分・型(文型・理型)等
		2	1	全

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成する。
使用教科書 副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・高等学校 情報 I (第一学習社) ・情報 I 学習ノート(第一学習社) ・ポイントでマスター 基礎からはじめる 情報リテラシーOffice2019 対応 ・ケーススタディ 情報モラル Advance ・30 時間でマスター ホームページビルダーVer.11/12/13 ・Excel でまなぶプログラミング

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人の関わりについて理解を深めるようにする。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。
評価点	300	300	300

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	第 1 章 情報社会の問題解決 Word を用いた実習 Excel を用いた実習	定期考査	課題 実技テスト	ノート 課題プリント タイピング練習 行動観察
	評価点	100	100	100
2	第 2 章 コミュニケーションと情報デザイン PowerPoint を用いた実習 第 3 章 コンピュータとプログラミング プログラミングを用いた実習	定期考査	課題 実技テスト	ノート 課題プリント タイピング練習 行動観察
	評価点	100	100	100
3	第 4 章 情報通信ネットワークとデータの活用 ホームページビルダーを用いた実習	定期考査	課題 実技テスト	ノート 課題プリント タイピング練習 行動観察
	評価点	100	100	100

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
1	4	第1章 情報社会の問題解決 パフォーマンス課題 Word を用いた実習	12
	5	第1節 情報の活用	
	6	第2節 個人の責任と情報モラル パフォーマンス課題 PowerPoint を用いた実習	12
	7	第3節 情報技術の役割と影響	
1学期期末考査			
2	8	第2章 コミュニケーションと情報デザイン パフォーマンス課題 Excel を用いた実習	13
	9	第1節 コミュニケーション手段の特徴	
	10	第2節 情報デザイン	
	11	第3節 コミュニケーションと効果的なデザイン	15
	12	第3章 コンピュータとプログラミング パフォーマンス課題 プログラミングを用いた実習	
2学期期末考査			
3	1	第4章 情報通信ネットワークとデータの活用	18
	2	第1節 情報通信ネットワークのしくみ パフォーマンス課題 ホームページビルダーを用いた実習	
	3	第2節 情報システムとデータ管理 第3節 データの分析と活用	
学年末考査			

5 その他

--